

もくじ

もくじ	1
はじめに	6

1章 パソコンのしくみ 9

1 ハードウェアとソフトウェア	10
2 ハードウェアとは	11
1 <small>シーピーユー</small> CPU	12
2 メモリ	13
3 記憶装置	14
4 入力装置	17
5 表示装置	18
3 ソフトウェアとは	19
1 <small>オーエス</small> OS (オペレーティングシステム)	20
2 アプリケーション	21
4 パソコンのデータの流れ.....	22

2章 基本操作を覚えよう 23

1 電源を入れる／切る	24
1 電源を入れる (2回目以降)	24
2 電源を切る	26
3 再起動.....	28
2 タッチパッドを使う	29
3 マウスを使う	33

3章 Windows を使ってみよう 39

- 1 デスクトップとは 40
- 2 ウィンドウを開く 42
- 3 ウィンドウを操作する 44
- 4 ファイルやフォルダを作る 53
- 5 ファイルやフォルダをコピーする 59
- 6 ファイルやフォルダを削除する 61
- 7 コントロールパネルとは? 67
- 8 アプリケーションを起動する／終了する 71

4章 文字を入力しよう 73

- 1 キーボードについて 74
- 2 メモ帳を開く 77
- 3 文字を入力する 78
 - 1 日本語を入力するには 79
 - 2 ローマ字入力／かな入力を決める 80
 - 3 ひらがなを入力する 84
 - 4 漢字を入力する 85
 - 5 カタカナを入力する 86
 - 6 記号を入力する 87
 - 7 英数字を入力する 89
 - 8 入力に関する制御キー 90
 - 9 入力がうまくできないとき 91
- 4 文書を保存する 99

5章 インターネットを楽しもう 103

- 1 Internet Explorer の使いかた 104
 - 1 インターネットボタンでワンタッチスタート! 104
 - 2 Internet Explorer 画面 106
 - 3 ホームページを検索する 108
 - 4 よく見るホームページを登録する (お気に入り) 110
 - 5 起動したときに表示するホームページを変更する 116
 - 6 ホームページを保存する 118
 - 7 ホームページの画像を保存する 121
 - 8 ホームページの画像を壁紙に設定する 123
 - 9 以前に表示したホームページを表示する 127
- 2 簡単にホームページに接続する 129
- 3 プログラムファイルをダウンロードする 130

6章 電子メールを使おう 133

- 1 電子メールとは? 134
 - 1 電子メールとは 134
 - 2 メールのおくみ 135
- 2 Microsoft Outlook の使いかた 136
 - 1 メールボタンでワンタッチスタート! 136
 - 2 オプションの設定 137
 - 3 Microsoft Outlook 画面 142
 - 4 メールを作成する 147
 - 5 メールを送信する/受信する 150
 - 6 メールを返信する/転送する 153
 - 7 メールを削除する 156
 - 8 メールを整理する 158
 - 9 アドレス帳を使う 161

10	メールを検索する	167
11	メールにファイルを添付する	168
12	メールに添付されたファイルを開く	170
13	署名を入れる	172
14	ヘルプの起動方法	174
15	終了する	175
3	ペットにメールを運んでもらう	176
4	知っておきたいマナー	179
5	新着メールをモードパネルで確認する	182
1	新着メールチェックの設定をする	183
2	新着メールを確認する	193
3	新着メールチェックを停止する	194

7章 本体の機能を知ろう 195

1	各部の名前	196
2	システムインジケータ	201
3	モードパネルと各ボタン	202
1	モードパネル	202
2	ワンタッチボタン	205
3	オーディオ/アプリケーションボタン	206
4	東芝コントロールで設定する	209
4	ディスプレイ	217
5	ハードディスクドライブ	218

6	サウンド機能	220
	1 スピーカの音量を調整する	220
	2 音楽／音声の録音レベルを調整する	223
7	CD / DVD	225
	1 CD / DVD	226
	2 CD / DVDのセットと取り出し	227
8	スマートメディア	231
	1 スマートメディア	231
	2 スマートメディアのセットと取り出し	232
	3 スマートメディアを使う前に	233
9	SDメモ리카ード	235
	1 SDメモ리카ード	235
	2 SDメモ리카ードのセットと取り出し	236
	3 SDメモ리카ードを使う前に	238
10	セキュリティロック	240

8章 パソコンの取り扱い 241

1	日常の取り扱いとお手入れ	242
2	アフターケアについて	249
3	廃棄について	250

付録 253







1	ローマ字入力一覧表	254
	さくいん	256

はじめに

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心して
お使いいただくために』に記載されています。よくお読みください。

本書は、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡する、あるいは重傷 <small>じゅうしょう</small> を負う 可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害 <small>しょうがい</small> *1を負ったり、物的損害*2 の発生が想定される内容を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下をおこさないために守ってほ しい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示し ます。
 メモ	知っておくと便利な内容を示します。
 用語	覚えておくと役に立つ用語を示します。
 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合… 「 」 他のマニュアルへの参照の場合… 『 』 オンラインマニュアルへの参照の場合… 〈 〉

*1 傷害しょうがいとは、治療ちりょうに入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などを
さします。

*2 物的損害とは、家屋・家財にかかわる拡大損害を示します。

用語について

本書では、次のように定義します。

- システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。
本製品のシステムは Windows XP です。
- アプリケーションまたはアプリケーションソフト
..... アプリケーションソフトウェアを示します。
- Windows XP Microsoft® Windows® XP Home Edition
operating system 日本語版を示します。
- MS-IME Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

記載について

- ・ インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- ・ 本書に記載している画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。

Trademarks

- ・ Microsoft、Windows、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ インテル、Pentium、Celeron は、Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
- ・ PostPet はソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
- ・ SmartMedia は株式会社東芝の登録商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、次の操作を行うとご覧になれます。

- ① [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
- ② [ヘルプトピックを選びます] の [リリース情報] をクリックする
- ③ 左画面の [リリース情報] をクリックする

お願い

- ・ 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ 内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみご利用いただけます。
- ・ ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1 章 パソコンのしくみ

1	ハードウェアとソフトウェア	10
2	ハードウェアとは	11
3	ソフトウェアとは	19
4	パソコンのデータの流れ.....	22

1

ハードウェアとソフトウェア

パソコンの用語でハードウェアとソフトウェアという言葉がよくきかれます。ハードウェアとは、「堅い（ハード）器」という意味です。パソコン本体やパソコンにつないで使うプリンタやデジタルカメラなど形のあるものを指します。ハードともいいます。

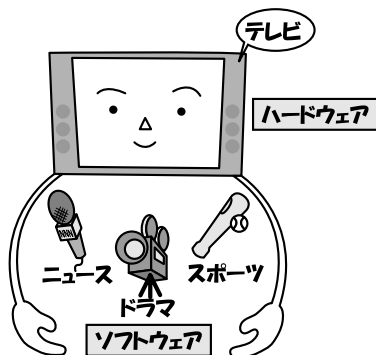
一方、ソフトウェアとは、「柔らかい（ソフト）器」という意味です。形のないもの、つまり、パソコンを動かすための手順や命令をまとめたプログラムのことです。ソフトともいいます。

テレビにたとえるなら、テレビがハードウェアで、テレビ番組がソフトウェアになります。

色々なテレビ番組があって初めて、人の役に立ったり、楽しませたりすることができます。

同じようにソフトウェアがなければパソコンは、文字を書くことも計算することもできないただの箱にすぎません。パソコンに何か仕事をさせるためには、ソフトウェアが必要です。

目的にあったソフトウェアを使うことによってパソコンの楽しみかたが広がります。

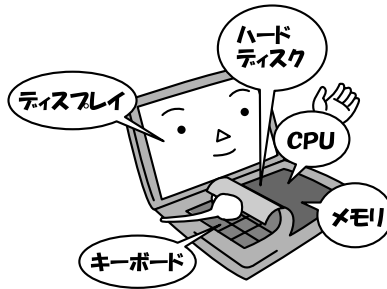


2

ハードウェアとは

ハードウェアについて詳しくみていきましょう。

ハードウェアは大きく分けて、CPU、メモリ、記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスク、CDなど）、入力装置（タッチパッドやキーボード）、出力装置（ディスプレイやプリンタ）の5つで構成されています。



一般的にノートパソコンでは、ハードディスク、キーボード、ディスプレイなどパソコンを使うために必要な装置が内蔵されています。

内蔵とは、あらかじめパソコンに取り付けてあることをいいます。

さらにパソコンの機能を広げるためにコネクタなどを利用し、ケーブルなどで機器を接続することを外付けといいます。

それでは、ハードウェアのそれぞれの役割についてみていきましょう。

1 シーピーユー CPU

CPUは、パソコンの頭脳にあたります。命令に従ってほかの装置に指示を出したり、あらゆる計算処理を行うところです。日本語では「中央演算装置」ともいいます。

カタログなどでよく見かける「インテル® Pentium® III プロセッサ」や「インテル® Celeron™ プロセッサ」はCPUの種類です。また、その後ろに「500MHz」とか「700MHz」と書かれています。これは「クロック周波数」と呼ばれるもので、CPUの処理速度を表しています。

同じ種類のCPUであれば、数値が大きいほど、処理スピードは速く、高性能で優秀なパソコンだということになります。メガは100万のことで、ヘルツはCPUが1秒間に処理する回数を表します。500MHzのCPUは1秒間に5億回処理できる計算になります。

CPUは年々スピードがアップしており、最近ではメガより1つ単位の大きい1G（10億）HzのCPUをもつパソコンも登場しました。

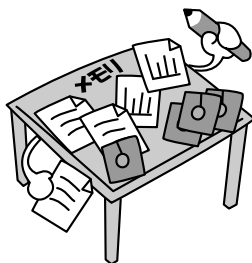
クロック周波数小さい



クロック周波数大きい


2 メモリ

CPUと直接データのやりとりをするのがメモリです。CPUが処理を行うために必要なデータは、いったんメモリに読み込まれます。メモリはCPUが作業をする場所にあたり、よく「机」にたとえられます。机の上で作業するとき、必要な材料などを広げられる大きな机の方が効率よく作業できます。同じように、メモリの容量も大きい方が効率よく作業できるので、CPUの処理がスムーズになります。作業量に合わせて適当なメモリの容量（机の大きさ）が必要になります。



データ量の大きい画像や音楽データを扱う場合は、大きなデータを広げられるだけの机（＝メモリ）が必要になります。机が足りない場合は、机を足して広げることができます。これをメモリの増設といいます。



参照  メモリの増設について

⇒ 『もっとステップアップ 3章 11 メモリを増設する』

なお、メモリは、パソコンの電源が入っている間だけデータを記憶します。電源を切るとデータは消えてしまいます。

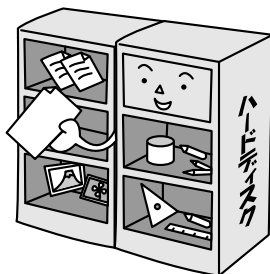
3 記憶装置


データやプログラムを保存しておく場所です。メモリが作業をする「机」なら、記憶装置は材料や作品をしまっておく「引き出し」や「棚」にたとえることができます。記憶装置には、ハードディスク、フロッピーディスク、CD、DVD、メモリカードなどがあります。

なお、これらの記憶装置はパソコンの電源を切ってもデータは消えません。

ハードディスク

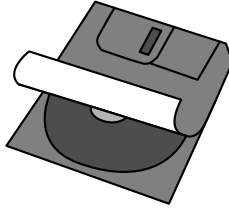
金属やガラスなどの堅い素材の円盤を使って、磁気で記憶する装置です。ハードディスクの中には複数枚の円盤が固定されていて、取り出すことはできません。固定することによって、精密さや性能を高く保っています。カタログなどに「10GB」などと書かれていますが、これはハードディスクにしまっておけるデータの容量を表しています。ハードディスクはフロッピーディスクやCDに比べて容量が大きいいため、たくさんのデータを記憶できます。



 ハードディスクについて ⇨ 「7章 5 ハードディスクドライブ」

フロッピーディスク

薄いプラスチックのやわらかい素材の円盤を使って、磁気で記憶します。1.44^{メガバイト}MBの容量のデータを記憶できます。記憶容量は小さいですが、小型で持ち運びができるので、データの受け渡しに便利です。



フロッピーディスクの使いかた

⇒『もっとステップアップ 3章 2 フロッピーディスクドライブを接続する』

CD

直径8cm、12cmの円盤に540～650MBの容量のデータを記憶するメディアです。



CDにはいくつかの種類があります。

- CD-ROM..... 読み出し専用です。
- CD-R 1回だけ書き込みができます。書き込まれたデータの削除や変更はできません。
- CD-RW..... 読み出しと書き込みができます。
- CD エクストラ ... 音楽用とパソコン用に分けて記録されているので、CDプレーヤでも再生できます。
- フォトCD 普通のカメラで撮影した写真をデジタル化し、CDに記録します。
- 音楽CD 一般の音楽用CDです。

*読み出しとは、すでにCDに記憶されているデータを見ることです。データを変更することはできません。一方、書き込みとは、新しいデータを記憶することをいいます。

DVD

直径 12cm の円盤に、4.7GB ~ 17GB のデータを記憶するメディアです。



DVD にはいくつかの種類があります。

DVD-ROM 読み出し専用です。

DVD-Video 映像再生用です。映画などが収録されています。

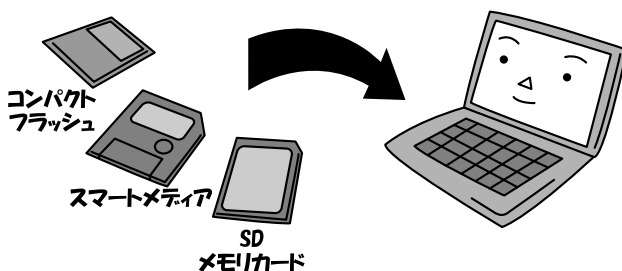
フラッシュメモ리카ード

小さなカードにデータを記憶するメディアです。

スマートメディア、SDメモ리카ード、コンパクトフラッシュなどがあります。

最近では、デジタルカメラや音楽用機器の記憶メディアとしてよく使われています。

本製品には、スマートメディアスロットとSDメモ리카ードスロットが用意されています。その他のフラッシュメモ리카ードを使用するには、フラッシュメモ리카ード用アダプタ（別売り）が必要です。アダプタには、PCカードタイプやUSB接続タイプなどがあります。

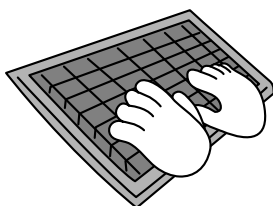


4 入力装置

入力装置は、パソコンでやりたいことをパソコンに伝える装置です。

キーボード

主に文字や数字などを入力します。

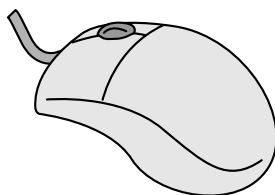
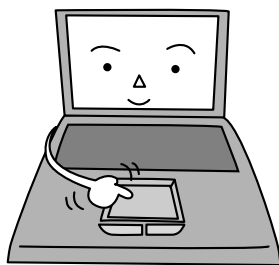


タッチパッドやマウス

画面上のポインタ（)を動かして、パソコンに伝えます。

タッチパッドとマウスは同じ働きをします。両方ある場合は、操作しやすいほうを使いましょう。

マウスは、形がねずみに似ているところからマウスと呼ばれています。

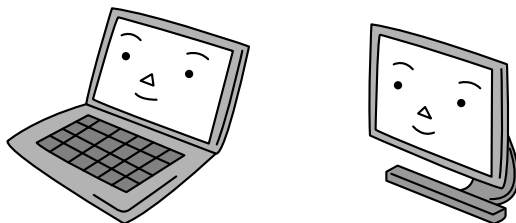



5 表示装置

表示装置は、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。一般的にディスプレイが使われます。キーボードなどの入力装置から出した指示がディスプレイに表示されるので、ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。

液晶ディスプレイ

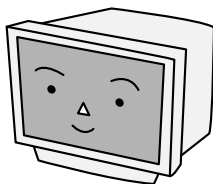
画面をごく小さな点に分けて、点ごとに電圧を変化させて画像を表示します。ノートパソコンでは液晶ディスプレイが内蔵されています。液晶ディスプレイには、薄型で消費電力が小さいというメリットがあります。最近では、デスクトップパソコンでも液晶ディスプレイを採用した製品が発売されています。



参照  液晶ディスプレイ ☞ 「7章 4 ディスプレイ」

CRT ディスプレイ

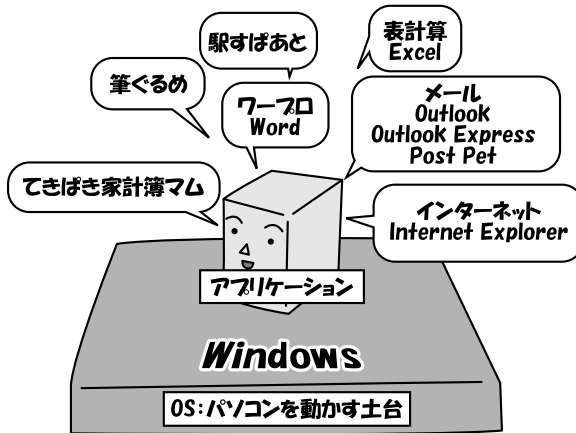
テレビと同様に、ブラウン管を発光させて表示します。ノートパソコンでもコネクタがあればCRTディスプレイを接続できます。



3

ソフトウェアとは

パソコンで使用するソフトウェアは、パソコンを動かす基本機能をもっているOS（オペレーティングシステム）、目的別に使うアプリケーションソフトの2つに大きく分けられます。



では、それぞれについて詳しくみていきましょう。

1 オーエス OS(オペレーティングシステム)


OSとはパソコンを動かす基本的機能を持っているソフトウェアのことで、基本ソフトともいいます。

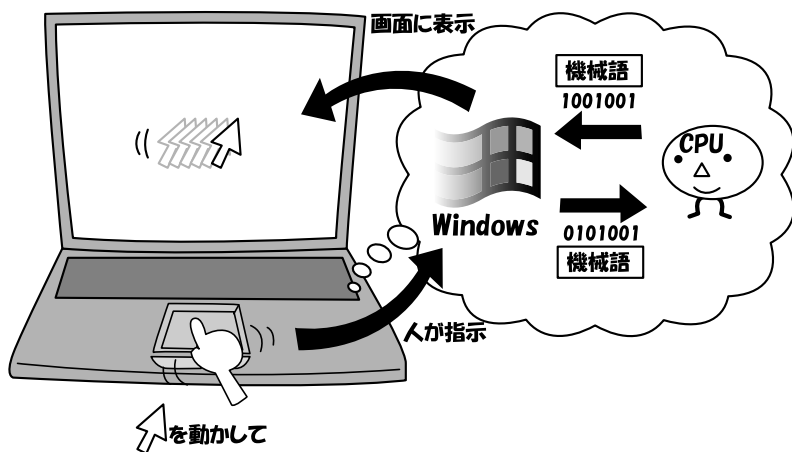
ウィンドウズ エックスピー
本製品では、OSに「Windows XP」を使っています。

OSは、ハードウェアとソフトウェアの両方の管理をし、パソコンを動かすためになくてはならない重要な存在です。

パソコンの内部は人には理解できない機械語で動いています。

OSは、人とパソコンの間に入って通訳をし、簡単な操作でお互いの意志が伝わるように働きます。

たとえば、画面上にアイコンや文字を表示させたり、タッチパッドやマウスの動きにあわせて画面上のポインタ()を動かしたりするのはOSの仕事です。



パソコンを購入して最初にWindowsのセットアップを行うのは、パソコンを動かす土台を敷くためです。セットアップを終えた後は、電源を入れるたびにWindowsが起動して、その上で、やっと使える状態になります。

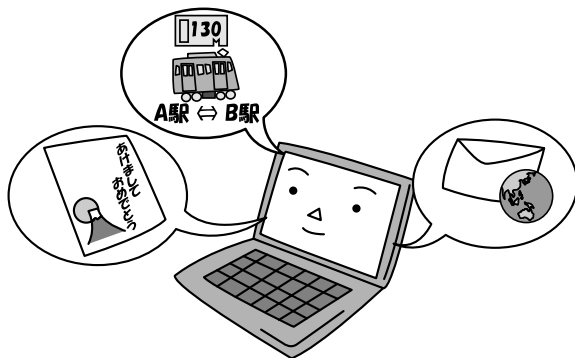
また、後ほど説明するワープロソフトなどのアプリケーションはOSの上で動きます。


2 アプリケーション

アプリケーション・ソフトウェアの略で、ソフトともいいます。目的に応じて実際に利用するソフトウェアのことで、基本ソフトに対して応用ソフトともいいます。

私たちがパソコンを使う目的は、アプリケーションを使って何かをすることだといってもいいでしょう。


アプリケーションには、文書を作成するワープロソフトや、複雑な計算やグラフの作成をする表計算ソフト、メールのやりとりができるメールソフト、世界中の情報を見ることができるブラウザソフト、その他にも絵を描いたり、音楽を聴いたり、年賀状を作ったり、といろいろなソフトがあります。本製品には、いろいろなアプリケーションが入っています。目的に応じて使ってみてください。すでにインストールされているのですぐに使うことができます。



 本製品に入っているアプリケーションについて ⇨ 『こんなことができる』

アプリケーションを新たに購入するときは Windows XP 対応のアプリケーションをお選びください。

その場合はパソコンへのインストールが必要になります。

 インストールについて ⇨ 『こんなことができる』

6章 2 アプリケーションを追加（インストール）する』

4

パソコンのデータの流れ

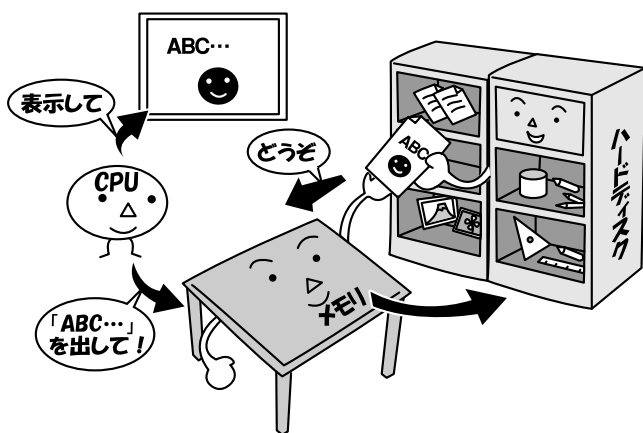
パソコンのデータは、次のような流れで処理されます。

パソコンのソフトやデータはハードディスクなどの記憶装置に保存されています。

まず、人が、パソコンを起動したり、マウスやキーボードなどの入力装置でパソコンに指示を出すと、その指示を処理するためのデータがハードディスクからメモリに読み込まれます。

そして、メモリ上にあるデータがCPUに送られて、いろいろな処理が行われ、結果をディスプレイなどの出力装置に表示します。

人が結果を保存する指示を出すと、メモリにあるデータはハードディスクに再びしまわれます。



2章 基本操作を覚えよう

- 1 電源を入れる／切る 24
- 2 タッチパッドを使う 29
- 3 マウスを使う 33

1

電源を入れる／切る

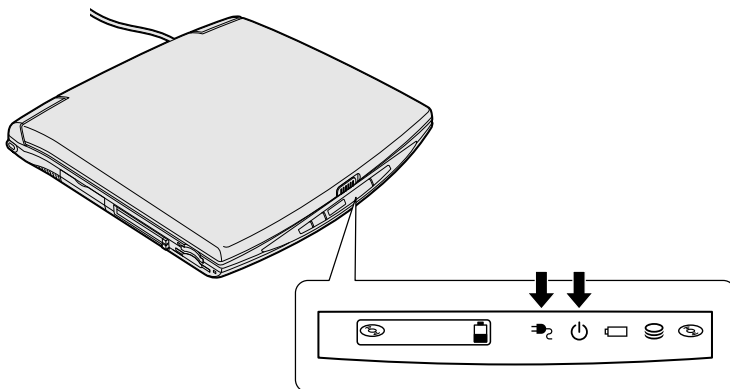
1 電源を入れる（2回目以降）



ここでは、Windows セットアップを終えた後の、電源の入れかたについて説明します。

電源に関する表示

電源の状態は次のシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。

電源に関係あるインジケータとそれぞれの意味は次のとおりです。



	状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリー、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点滅	スタンバイ中
	消灯	電源OFF、休止状態中




- LED (エルイーディー) ● 発光ダイオードのこと。電流を流すと、種類によって赤、オレンジ、緑、黄、青などの光を発光する。消費電力が小さいため ON / OFF などの表示ランプによく使われる。

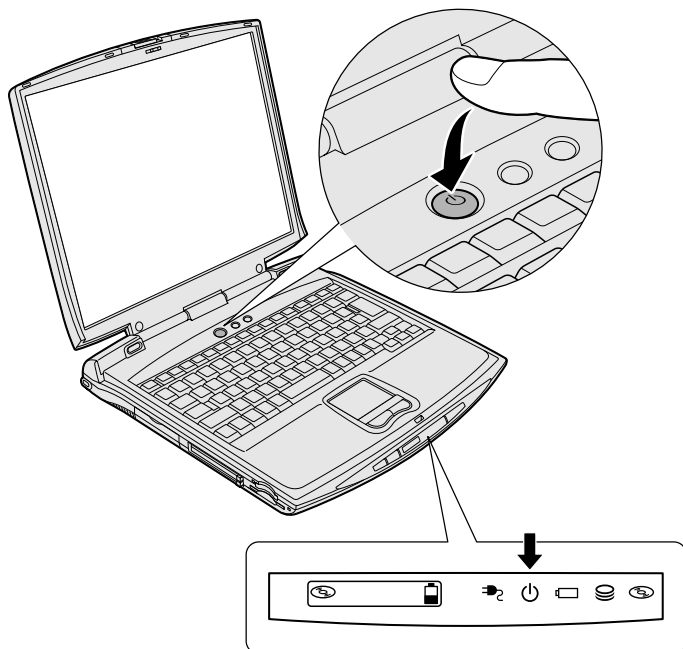
電源を入れる前に

- フロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入ったままになっていないか確認してください。入っていれば取り出してください。
- プリンタなどの周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れてください。

操作手順

1 電源スイッチを押す

Power  LED が緑色に点灯するまで、電源スイッチを押してください。



しばらくすると、次のWindowsの起動画面が表示されます。



画面上に ⌚ があるときは「準備中」ということです。⌚ が消えてマウスになったら使える状態です。

2 電源を切る

パソコンには電源を切る手順があります。

正しい手順で切らないとパソコンが故障したり、データが壊れる原因になりますので、必ず正しい手順で操作してください。

電源を切る前に

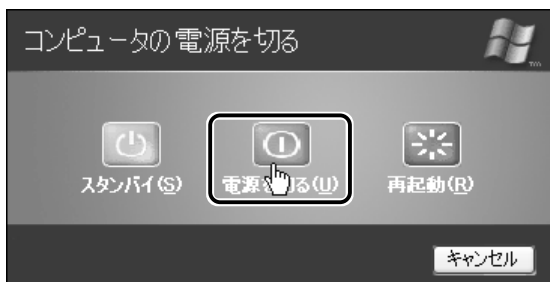
- 必要なデータは保存してください。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk (LED) や CD-ROM (LED) が点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

操作手順

- 1 [スタート] ボタンをクリックし①、[終了オプション] をクリックする②



- 2 [電源を切る] をクリックする



Windows が終了し、電源が切れます。

電源を切った後は

- 周辺機器の電源はパソコン本体の電源を切った後に切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後、すぐに入れないでください。故障の原因となります。

- メモ** ● 周辺機器の電源は、電源を入れるときに「パソコンより先」、電源を切るときは「パソコンより後」と覚えておきましょう。

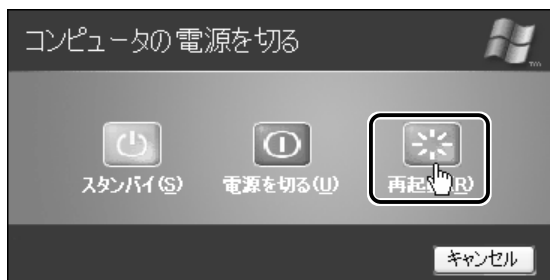
3 再起動

Windows を終了した後、すぐにもう 1 度起動することを再起動といいます。パソコンの設定を変えたときや、パソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし①、[終了オプション] をクリックする②




- 2 [再起動] をクリックする



2

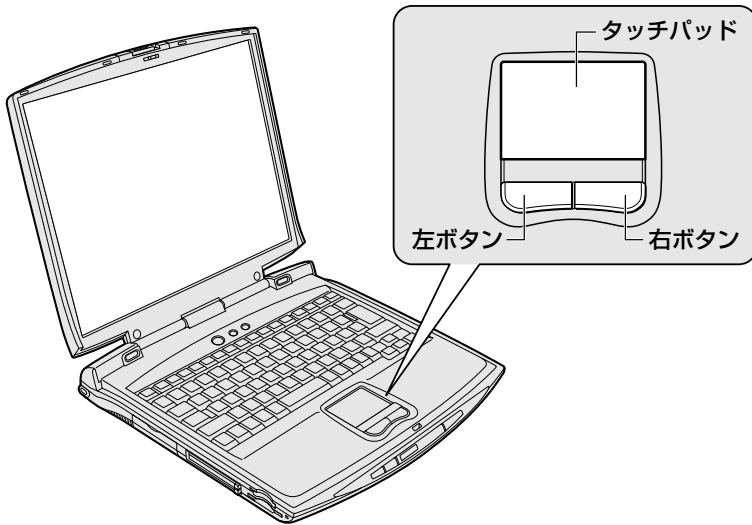
タッチパッドを使う

電源を入れてWindowsを起動すると、画面上に  が表示されます。これを「ポインタ」といいます。

パソコンは、主にこの「ポインタ」を動かして操作していきます。

「ポインタ」を動かす装置として、本製品にはタッチパッドと左ボタン／右ボタンが用意されています。

タッチパッドと左ボタン／右ボタンでポインタを動かし、パソコンを操作してみましょう。

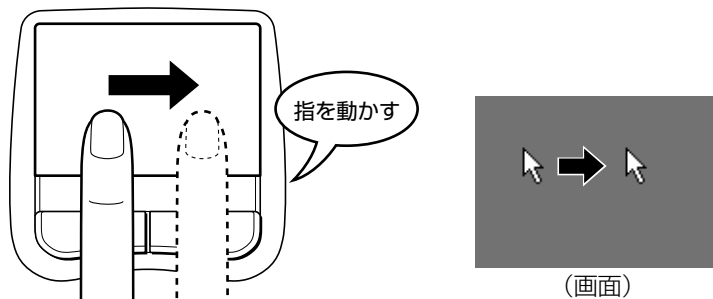


お願い

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが壊れるおそれがあります。

ポインタを動かす

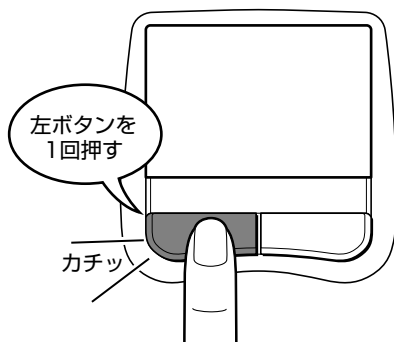
タッチパッドに指を置き、指を上下左右に動かすと、ポインタが指の方向にあわせて動きます。



- メモ** ● 指がタッチパッドの端までできてしまい、それ以上動かせなくなったときは、いったん指をタッチパッドから離して、指をタッチパッドの中央に置き直して操作します。

クリックする

ポインタを目的のアイコンや文字などの位置にあわせて、左ボタンを1回押すことです。



アイコン、文字などを選択するときに使います。アイコンなどを選択すると、色が変わります。これを「反転表示」といいます。

<クリックする前>

<クリックした後>



マイピクチャ

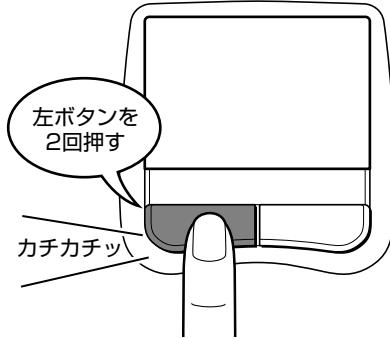


マイピクチャ

ダブルクリックする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく2回押すことです。

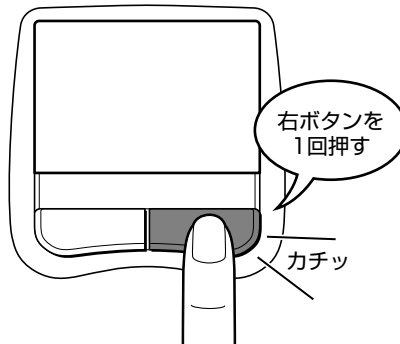
ファイルを開いたり、アプリケーションを起動できます。



右クリックする

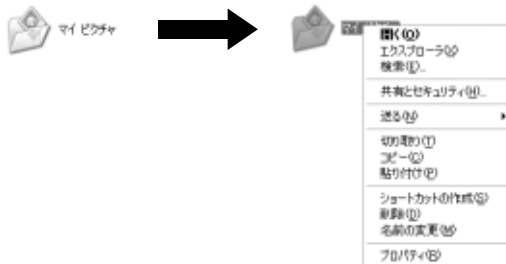
ポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを1回押すことです。

メニューが表示されるので、行いたいことをクリックして選択します。



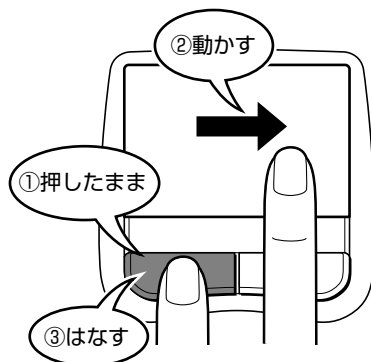
<右クリックする前>

<右クリックした後>



ドラッグアンドドロップする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを押したまま①、別の指でタッチパッドでポインタを動かします②（ドラッグ）。ポインタが目的の位置に移動したら、左ボタンから指をはなします③（ドロップ）。




ドラッグアンドドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。

3

マウスを使う

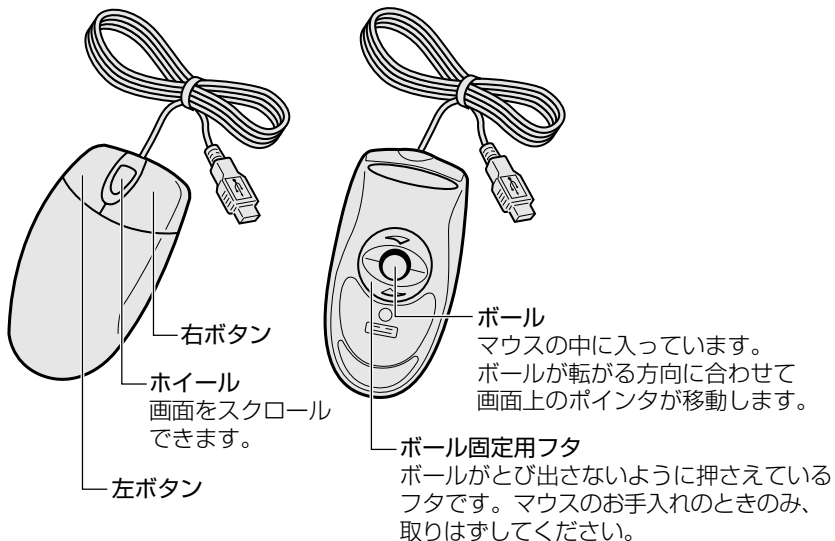
マウスはタッチパッド、左ボタン／右ボタンと同じ働きをします。本製品は、USB マウスを USB コネクタに接続して使うことができます。マウスをお使いになる場合は別途お買い求めください。マウスは、Windows のセットアップが終わった後に接続してください。

 接続について

➡ 『もっとステップアップ 3 章 4 USB 対応機器を接続する』

接続したら、マウスを使ってポインタを動かしたり、クリック、ダブルクリックなどをしてみましょう。

ここでは、次のようなホイール付きの USB マウスを例に、マウスの使いかたを説明します。



マウスをうまく動かすには

- マウスを動かす場所がなくなったときは、いったんマウスを持ち上げ、マウスを動かせる位置に戻します。
- マウスは平らな場所で使用してください。ボールが転がりにくい場所では、ポインタの動きが鈍くなることがあります。
- マウスの動きを滑らかにするには、マウスパッドのご使用をおすすめします。

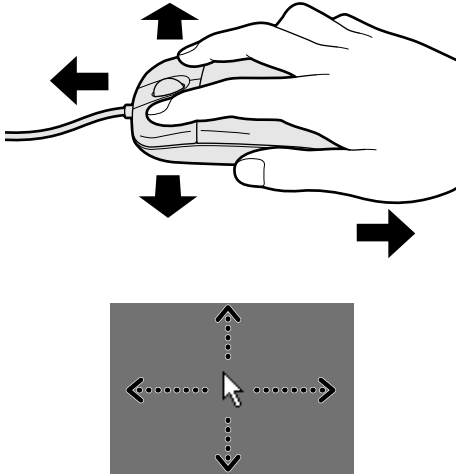
マウスの持ちかた

マウスを手のひらで包むように持ち、人差し指と中指を各ボタンの上に置きます。



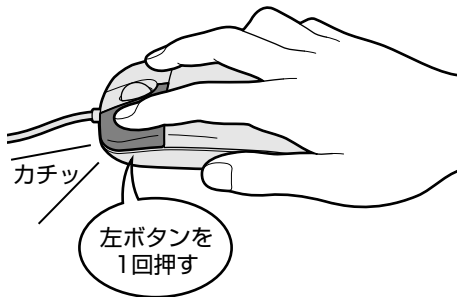
ポインタを動かす

滑らせるようにしてマウスを上下左右に動かします。ポインタがマウスの動きにあわせて動きます。



クリックする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンを1回押すことです。



ダブルクリックする

ポインタを目的の位置にあわせて、左ボタンをすばやく2回押すことです。



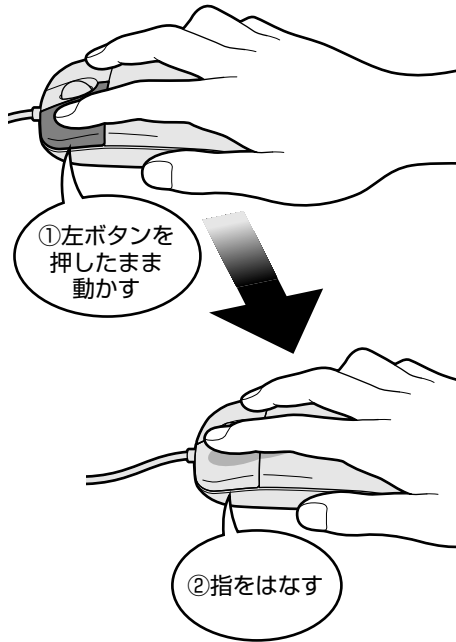
右クリックする

ポインタを目的の位置にあわせて、右ボタンを1回押すことです。



ドラッグアンドドロップする

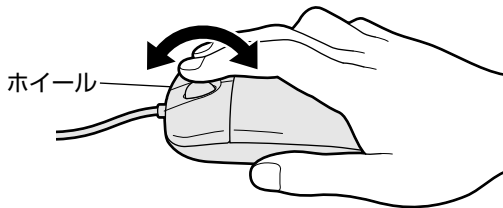
左ボタンを押したまま、マウスを動かします①（ドラッグ）。ポインタが目的の位置に移動したら、ボタンから指を離します②（ドロップ）。



スクロールする

スクロールとは画面を動かすことです。スクロールすると画面に表示しきれない部分を見ることができます。ホイールを前後にまわすとまわした方向にスクロールされます。

ホイールを前後に倒してスクロールするタイプもあります。



3章 Windowsを使ってみよう

1	デスクトップとは	40
2	ウィンドウを開く	42
3	ウィンドウを操作する	44
4	ファイルやフォルダを作る	53
5	ファイルやフォルダをコピーする	59
6	ファイルやフォルダを削除する	61
7	コントロールパネルとは?	67
8	アプリケーションを起動する／終了する	71

1

デスクトップとは

パソコンに表示される画面全体を「デスクトップ」といいます。デスクトップとは「机の上」のことで、普段机の上で作業するのと同じように、パソコンもデスクトップの上でいろいろな作業をします。ここでは、デスクトップに表示されているものの役割を確認しましょう。

ごみ箱

いらなくなったファイルをいったんここに捨て、まとめて消去します。

アイコン

よく使うファイルやアプリケーションなどが、絵で表示されます。

インターネット

インターネットに接続できます。標準で設定されているブラウザソフト名が表示されています。

電子メール

電子メールソフトを起動することができます。標準で設定されている電子メールソフト名が表示されています。

【スタート】メニュー

よく使うファイルやアプリケーションなどが、表示されます。クリックすると、目的の操作を始めることができます。



【スタート】ボタン

クリックすると、表示されている【スタート】メニューを閉じたり、再び表示させたりすることができます。



マイ ドキュメント
マイ ピクチャ
マイ ミュージック

自分で作った文章や画像、音楽データなどを保存する場所です。

マイ コンピュータ

お使いのパソコンの構成を知ることができます。

終了オプション

パソコンの電源を切ることができます。

IMEツールバー

日本語を入力するときに使います。

通知領域

タスクバーの右端には色々な設定のためのアイコンが並び、時刻が表示されます。

タスクバー


現在、Windows上で作業しているものの名前が一覧表示されます。

2

ウィンドウを開く

アイコンの中身をみたり、ファイルを開いたときなどに表示される窓のような四角い枠を「ウィンドウ」といいます。

「マイ ドキュメント」のウィンドウを開いてみましょう。

- 1 [スタート] メニューにある [マイ ドキュメント] アイコン () にポインタをあわせ、クリックする
[マイ ドキュメント] のウィンドウが開きます。

<ウィンドウの各部の名称と役割>

タイトルバー

ウィンドウの名前が表示されます。この部分にポインタをあわせてドラッグアンドドロップすると、ウィンドウを移動できます。

メニューバー

いろいろな操作が種類別にまとめられています。それぞれのボタンをクリックするとメニューが表示され、さらに細かい操作を選んでいきます。

ツールバー

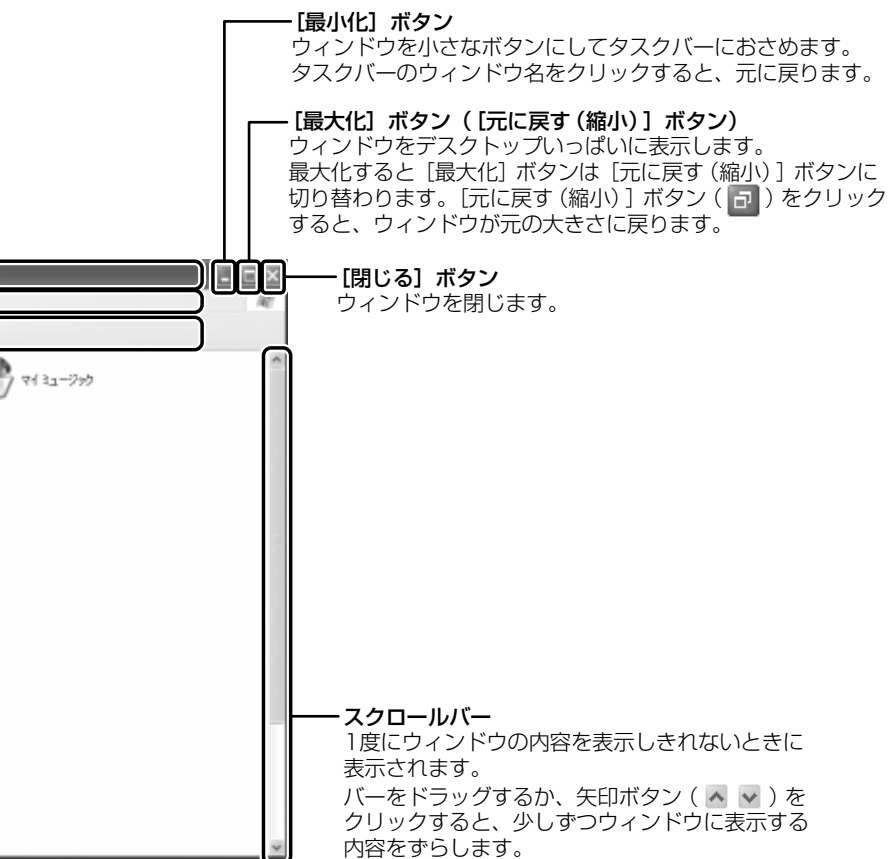
メニューバーからできる操作の中で、よく使う操作をボタンにしています。

操作メニュー

ファイルなどを選択すると、そのときできる操作のメニューが左画面に表示されます。

左画面の内容は、選択されているアイコンによって切り替わります。




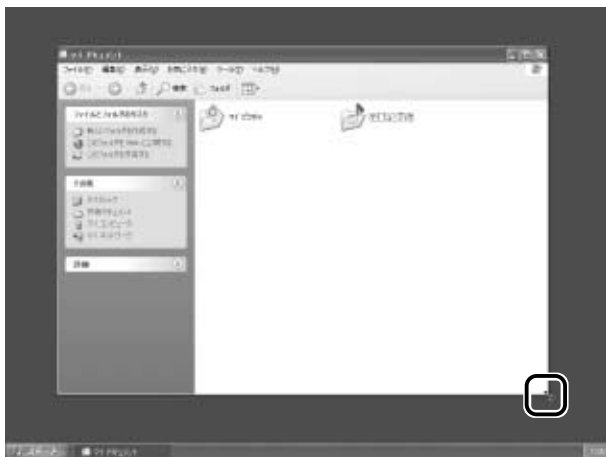


3

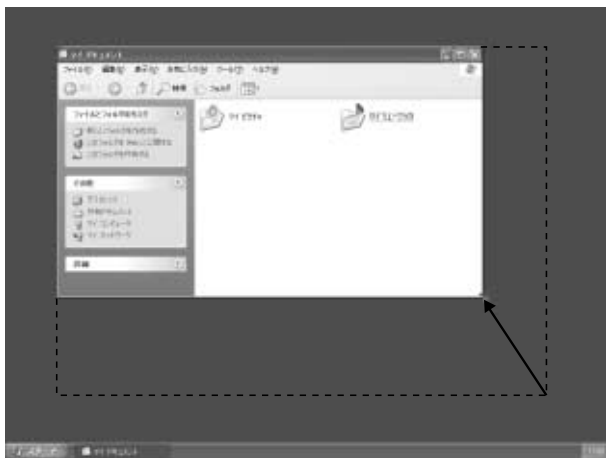
ウィンドウを操作する

ウィンドウの大きさを変える





- 1 ウィンドウの境界線にポインタをあわせる
ポインタが  に変わります。



- 2 適当な位置までドラッグアンドドロップする



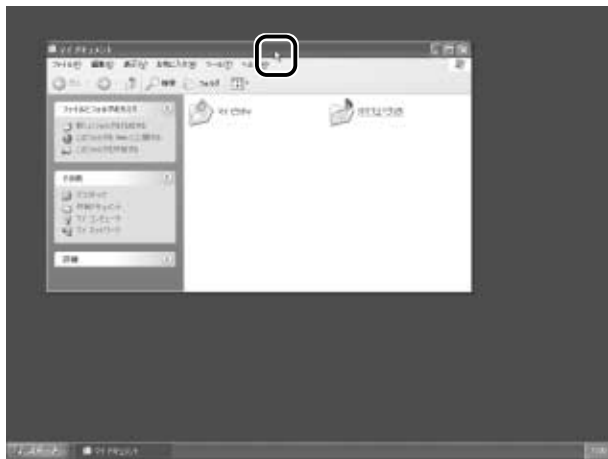
ウィンドウの大きさが変わりました。

ウィンドウの境界線でポインタは     に変わります。縦、横の大きさも自由に変えられます。

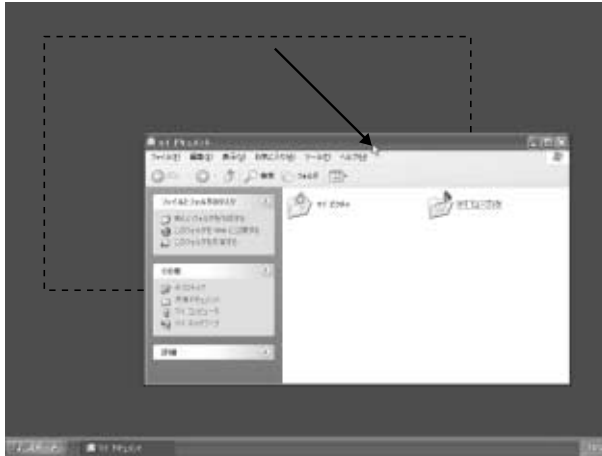


ウィンドウを移動する

1 ポインタをウィンドウのタイトルバーにあわせる



2 適当な位置までドラッグアンドドロップする



ウィンドウが移動しました。

スクロールする

画面を動かすことを「スクロール」といいます。スクロールすると、画面に表示しきれない部分を見ることができます。

1 スクロールバーの ▼ ボタンにポインタをあわせてクリックする



クリックするたびに少しずつウィンドウの内容が変わり、スクロールされます。



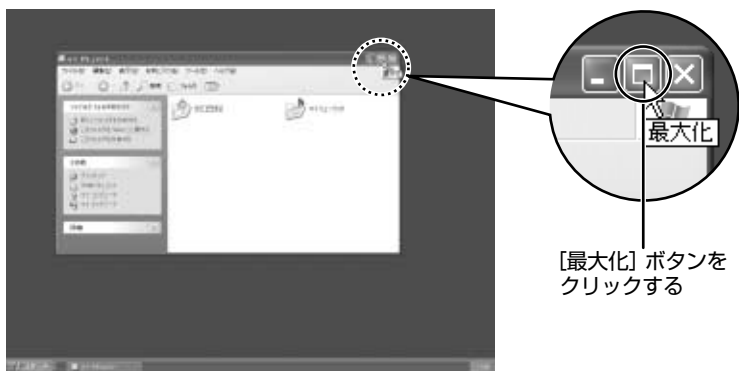
スクロールにあわせて、
バーが移動します。

上にスクロールしたいときは ▲ ボタンをクリックします。

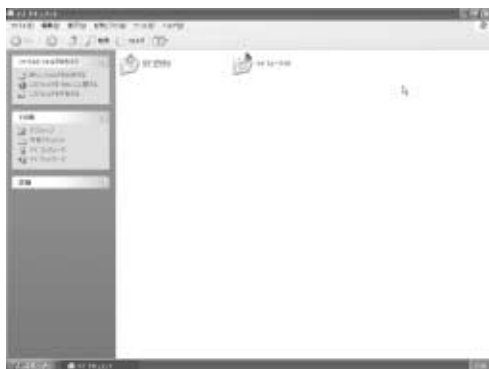


ウィンドウを最大化する

デスクトップいっぱいにウィンドウを表示することを「最大化」といいます。最大化すると、画面が大きくなり、見やすくなります。



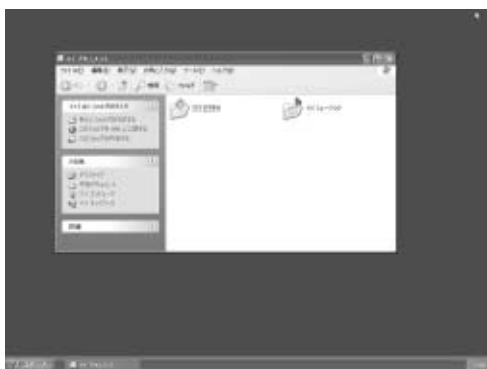
デスクトップいっぱいにウィンドウが表示されます。



【元に戻すには】

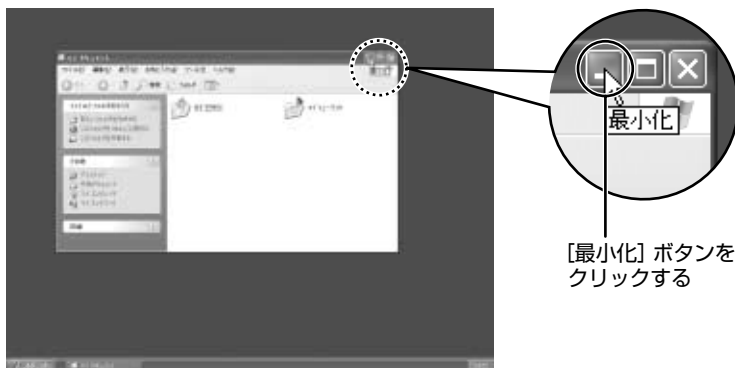


最大化する前の大きさで表示されます。



ウィンドウを最小化する

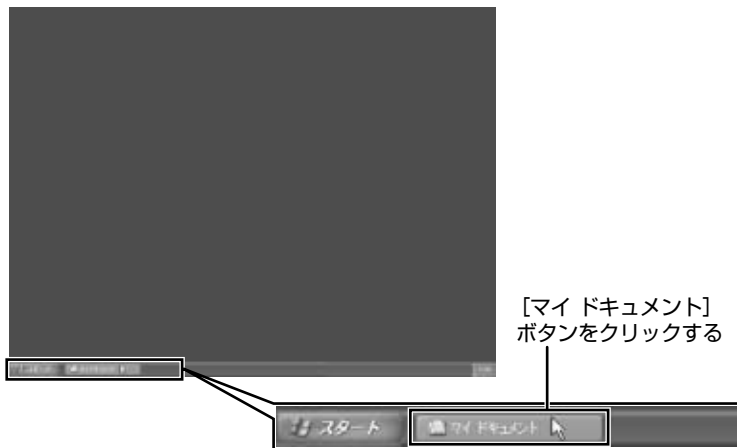
ウィンドウを小さなボタンにしてデスクトップ画面下のタスクバーに格納することを「最小化」といいます。作業しているとき一時的に使わないウィンドウがあったら、最小化してタスクバーにしまっておきましょう。こうしておけば、使いたいときいちいち起動しなくてもすむのでウィンドウを閉じてしまうより便利です。



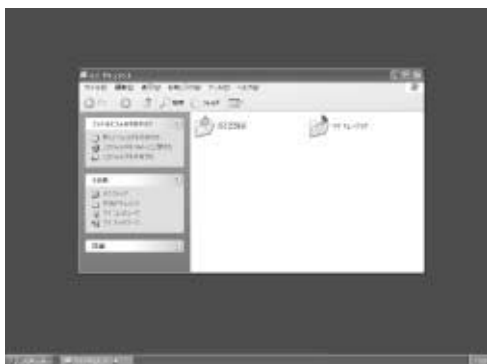
[マイ ドキュメント] ウィンドウが最小化され、デスクトップから消えて、タスクバーに格納されます。



【元に戻すには】



最小化する前の大きさで表示されます。



ウィンドウを閉じる

ほとんどのウィンドウが次の方法で閉じます。



4

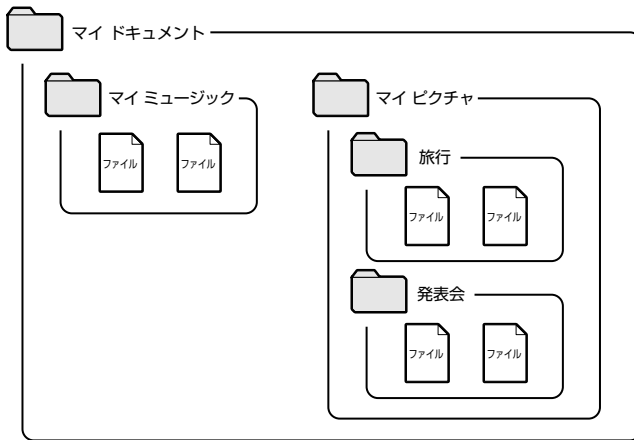
ファイルやフォルダを作る

パソコンのデータは、「ファイル」単位で保存・整理します。ファイルにはいろいろな種類があります。ファイルの種類ごとに違うアイコンで表示されます。

このようなアイコンが使われています。



また、ファイルをまとめておく入れものを「フォルダ」といいます。フォルダの中にはさらにフォルダを入れて、細かく分類することができます。「本章 2 ウィンドウを開く」で開いた「マイドキュメント」もフォルダです。



Windows は、たくさんのファイルやフォルダで構成されています。ここでは、フォルダとファイルを自分で新しく作成し、管理する方法について説明します。

ここからは、表示される画面全体のことを「デスクトップ」、開いたウィンドウのことを「画面」とよびます。

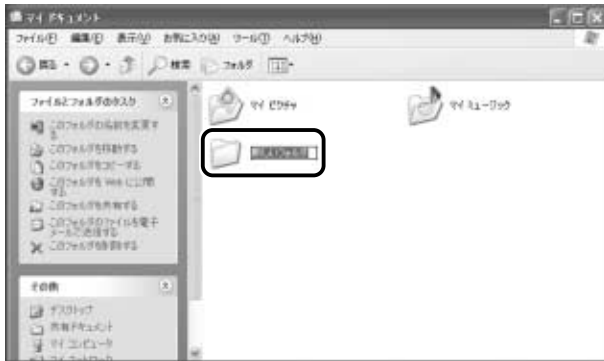
フォルダを作る

[マイ ドキュメント] の中に、フォルダを作ってみましょう。

- 1 [マイ ドキュメント] 画面で操作メニューの [新しいフォルダを作成する] にポインタをあわせ、クリックする



[マイ ドキュメント] の中に、[新しいフォルダ] が作成されます。



フォルダ名が反転表示されて確定していない場合は、[マイ ドキュメント] の中の何も無いところにポインタを移動してクリックしてください。ここではフォルダ名を変えず、[新しいフォルダ] のままとします。
これで、[マイ ドキュメント] の中に、[新しいフォルダ] を作ることができました。

- メモ** ● メニューバーの [ファイル] → [新規作成] → [フォルダ] をクリックしても、新しいフォルダを作ることができます。

ファイルを作る

フォルダを作ったら、その中にファイルを作ってみましょう。
ここでは、「テキスト ドキュメント」ファイルの作りかたについて説明します。

1 [新しいフォルダ] をダブルクリックする


[マイ ドキュメント] 画面が消えて、[新しいフォルダ] 画面が開きます。

画面の中にあるフォルダを開くと、そのフォルダの内容が表示されます。



↓
ダブルクリック



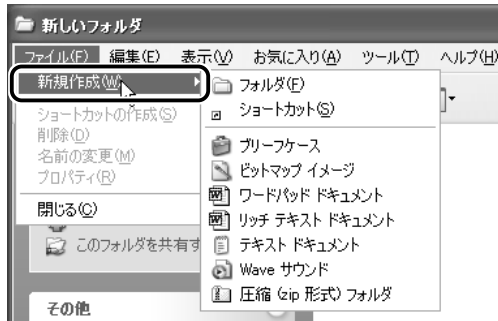
- メモ**
- ひとつ上の階層のフォルダ画面（ここでは [マイ ドキュメント] 画面）をもう 1 度表示させる場合は、ツールバーの [上へ] ボタン（）をクリックしてください。

- 2 [新しいフォルダ] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックする



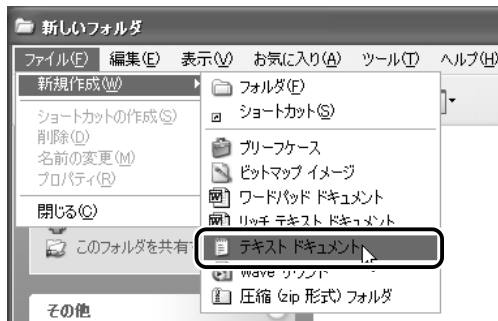
メニューが表示されます。

- 3 ポインタを [新規作成] にあわせる
右端の ▶ の右にメニューが表示されます。

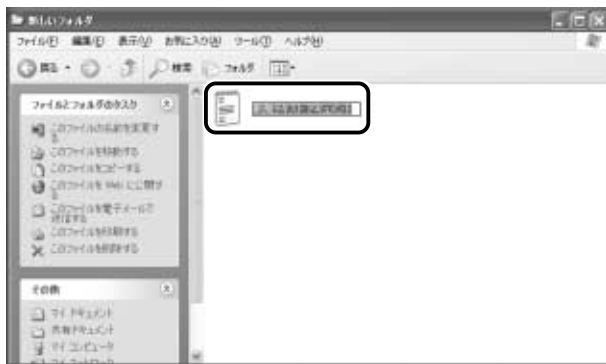


- 4 [テキスト ドキュメント] にポインタをあわせ、クリックする

ここで選択したテキスト ドキュメントとは、文字だけを入力するための形式です。テキスト ドキュメントには文字の種類を変えたり、図を入れたりすることはできません。



[新しいフォルダ] の中に、[新規テキスト ドキュメント] が作成されます。



ファイル名が反転表示されて確定していない場合は [新しいフォルダ] 中の何も無いところをクリックしてください。ここでは、ファイル名を変えず [新規テキスト ドキュメント] のままとします。

これで、[新しいフォルダ] の中に、[新規テキスト ドキュメント] ファイルを作ることができました。

フォルダやファイルの名前を変更する

フォルダやファイルの名前は、変更することができます。ここでは、[新しいフォルダ] の中に作った [新規テキスト ドキュメント] ファイルを例に説明します。

1 [新しいフォルダ] 画面で [新規テキスト ドキュメント] をクリックする

アイコンが反転表示されます。



2 操作メニューの【このファイルの名前を変更する】にポインタをあわせ、クリックする




アイコンの、ファイル名のところだけ反転表示されます。



ここで新しいファイル名を入力すると、そのファイル名が設定されます。

ここでは、ファイルの名前は【新規テキストドキュメント】のまま説明を進めます。

【新しいフォルダ】の中の何もないところをクリックして、次に進んでください。

-  ● ファイルのアイコンを右クリックして、表示されたメニューから【名前の変更】をクリックしても名前の変更ができます。

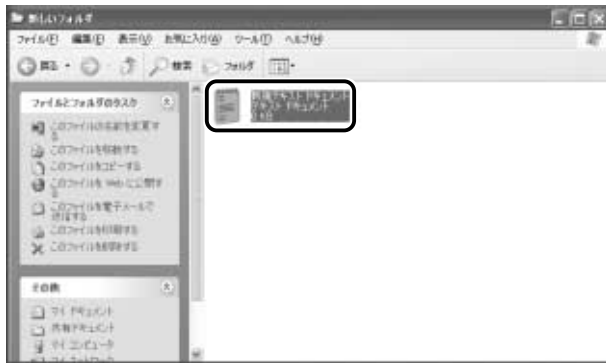
5

ファイルやフォルダをコピーする

ファイルやフォルダは、コピーする（複製を作る）ことができます。ここでは、[新しいフォルダ] の中に作った [新規テキスト ドキュメント] を [マイ ドキュメント] フォルダにコピーしてみましょう。

1 [新しいフォルダ] 画面で [新規テキスト ドキュメント] をクリックする

アイコンが反転表示されます。

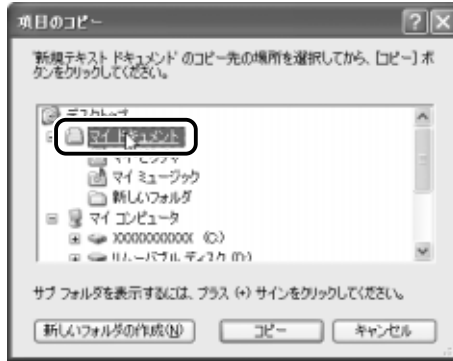


2 操作メニューの [このファイルをコピーする] にポインタをあわせ、クリックする




[項目のコピー] 画面が表示されます。

3 [マイ ドキュメント] をクリックする

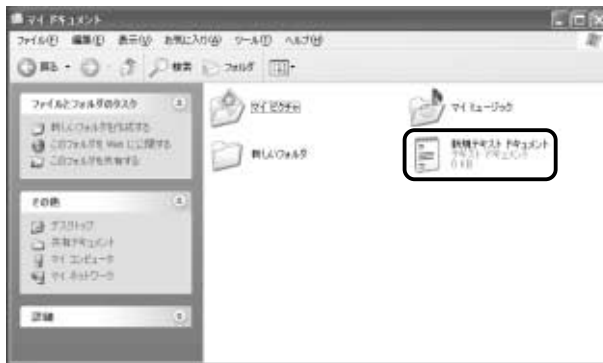


4 [コピー] ボタンをクリックする

これで [新規テキスト ドキュメント] をコピーすることができました。

[上へ] ボタン () をクリックすると、1つ上の階層にある [マイドキュメント] 画面が表示されます。

[新規テキスト ドキュメント] があることを確認してください。



6

ファイルやフォルダを削除する

ファイルやフォルダを削除するときは、いったん [ごみ箱] フォルダに入れてから、まとめて消去します。誤ってファイルやフォルダを削除してしまった場合、[ごみ箱] フォルダにあるうちは、元の場所に戻してまた使うことができます。

[マイ ドキュメント] にコピーした [新規テキスト ドキュメント] を削除してみましょう。

1 [マイ ドキュメント] 画面で [新規テキスト ドキュメント] をクリックする

アイコンが反転表示されます。

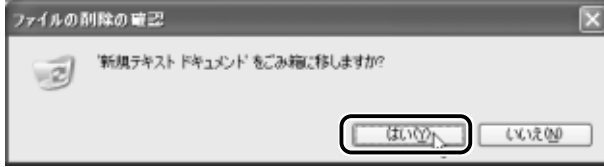


2 操作メニューの [このファイルを削除する] にポインタをあわせ、クリックする




[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。

3 [はい] ボタンをクリックする



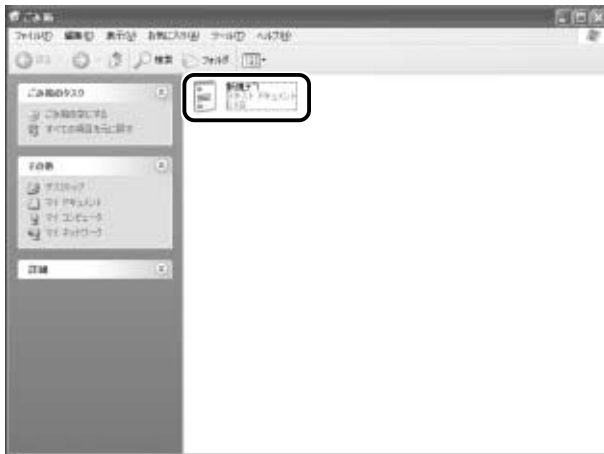
[マイ ドキュメント] フォルダから [新規テキスト ドキュメント] が消えますが、ファイルはなくなったわけではありません。[ごみ箱] の中に移動しています。ごみ箱に入れたファイルは、元の場所に戻すことができます。

 詳細について ⇨ 「本節 - ごみ箱に入れたファイルを元に戻す」

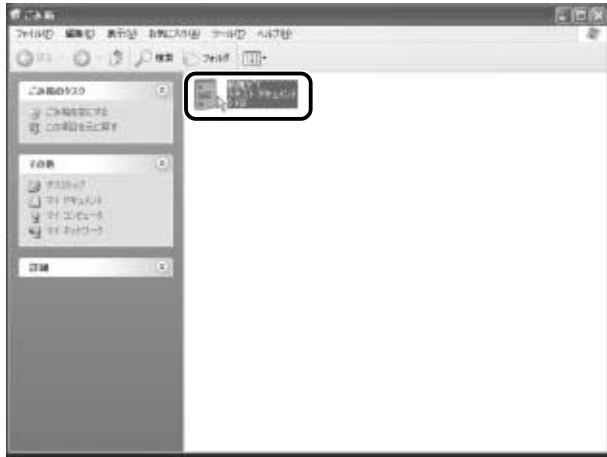
手順4以降では、ごみ箱に入れたファイルを完全に削除する方法を説明します。ごみ箱に入れたファイルは定期的に削除してください。ごみ箱に入れただけでは、ファイルはハードディスクに残っています。削除しないと、ハードディスクがいっぱいになってしまいます。

4 デスクトップの [ごみ箱] アイコン () をダブルクリックする

[ごみ箱] 画面が開き、削除した [新規テキスト ドキュメント] が表示されます。



- 5 [ごみ箱] 画面で [新規テキスト ドキュメント] をクリックする
選択したファイルが反転表示されます。



- 6 メニューバーの [ファイル] をクリックする



メニューが表示されます。

- 7 ポインタを [削除] にあわせ、クリックする



[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。

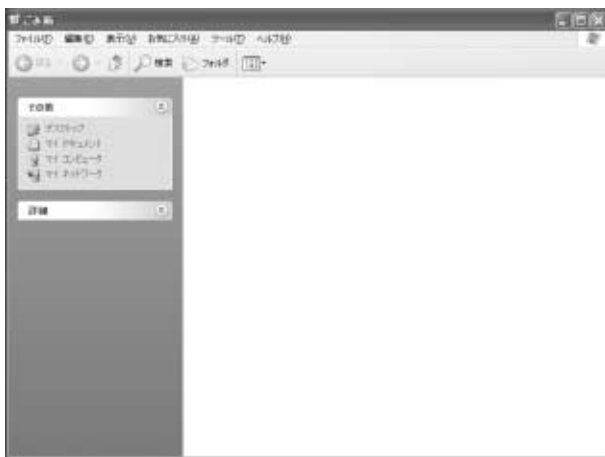


- [ごみ箱] から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行なってください。

8 「はい」 ボタンをクリックする



「新規テキスト ドキュメント」が完全に削除されます。



■ まとめて削除する方法


「ごみ箱」画面で操作メニューの「ごみ箱を空にする」にポインタをあわせ、クリックすると、「ごみ箱」にあるファイルやフォルダすべてを削除できます。

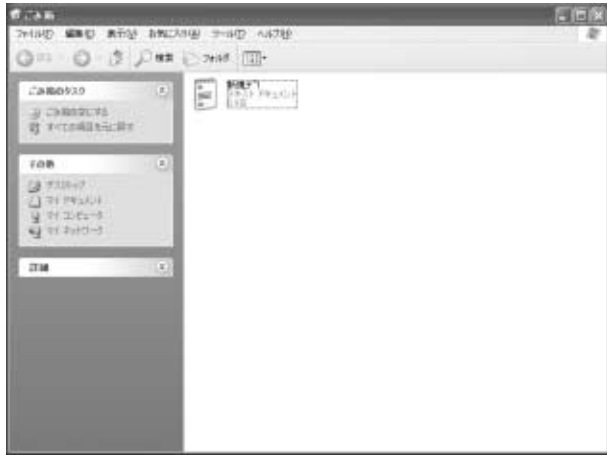


- 「ごみ箱」から削除したファイルやフォルダは、元に戻すことはできません。よく確かめてから、削除を行なってください。

ごみ箱に入れたファイルを元に戻す

【ごみ箱】にあるファイルやフォルダを元に戻すときは、次の手順で行います。

- 1 デSKTOPの【ごみ箱】アイコン () をダブルクリックする
【ごみ箱】画面が開きます。



- 2 【ごみ箱】画面で元に戻したいファイルやフォルダをクリックする
選択したファイルやフォルダが反転表示されます。



3 操作メニューの【この項目を元に戻す】にポインタをあわせ、クリックする

選択したファイルやフォルダが、元の場所に戻ります。



- フロッピーディスクやCD-RWから削除したファイルやフォルダを元に戻すことはできません。この場合、データを削除すると、完全に失われてしまい、【ごみ箱】フォルダには入りません。

7

コントロールパネルとは？

コントロールパネルとは、パソコンの設定をするときによく開くフォルダです。

コントロールパネルの開きかた

■ 方法1 - [スタート] メニューから開く

- 1 [スタート] ボタンをクリックし①、[コントロールパネル] をクリックする②



■ 方法2 - [マイコンピュータ] から開く

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[マイコンピュータ] をクリックする
- 2 操作メニューの [コントロールパネル] にポインタをあわせ、クリックする



【コントロールパネル】 画面

【コントロールパネル】には2つの画面があります。

設定したい内容を分類し、そのカテゴリだけを表示している画面と、すべてのオプション（アイコン）を表示している画面です。

この2つの画面を切り替える方法を説明します。

*本書では、カテゴリを表示しているという前提で、操作の説明をしています。

カテゴリだけを表示する画面



各アイコンや下線部をクリックすると、各カテゴリのメニューが表示されます。

下線部をクリックすると切り替わります。



すべてのオプションを表示する画面



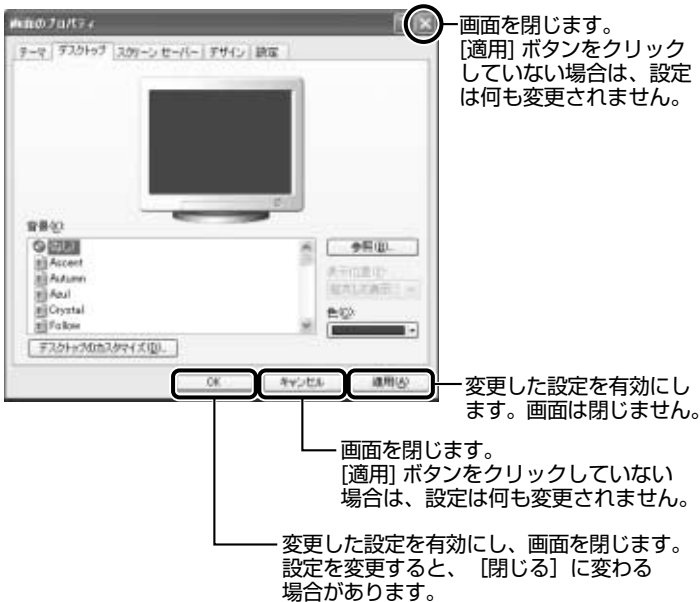
各アイコンをダブルクリックすると、オプション画面が開きます。

コントロールパネルの閉じかた

設定や確認をした後の、[オプション] 画面と [コントロールパネル] 画面の閉じかたを説明します。

1 [オプション] 画面を閉じる

変更した設定を有効にするかどうかによって、閉じかたが異なります。



オプションから複数の画面を開いていた場合は、1 つ前に表示されていた画面に戻ります。

オプションの画面をすべて閉じると、[コントロールパネル] 画面に戻ります。

メモ ● [適用] ボタンをクリックした後に、[キャンセル] ボタンまたは [閉じる] () ボタンをクリックしても設定を無効にすることはできません。

2 [コントロールパネル] 画面の [閉じる] ボタン () をクリックする

[コントロールパネル] 画面が閉じます。

8

アプリケーションを起動する ／終了する

本製品には、いろいろなアプリケーションがインストールされています。
アプリケーションの起動方法、終了方法について説明します。

アプリケーションを起動する

ここでは「Microsoft Word」を起動する方法を例に説明します。


- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Microsoft Word] をクリックする



「Microsoft Word」が起動します。

ここでは、[スタート]メニューからの起動方法を説明しました。
この他、デスクトップにアイコン（ショートカットアイコン）を設定し、そのアイコンをダブルクリックしてアプリケーションを起動することもできます。

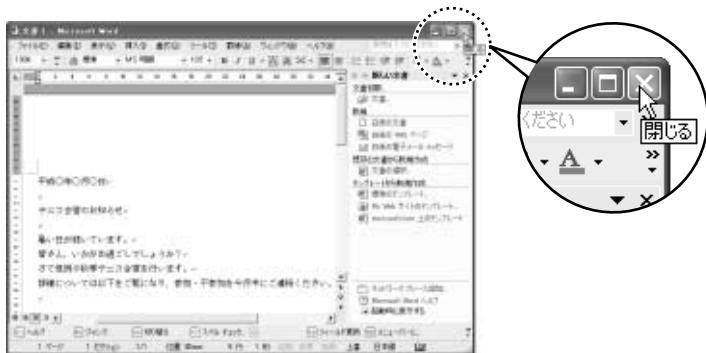
ショートカットアイコンは、自分で作成することができます。よく使うアプリケーションのショートカットアイコンをデスクトップに作成しておくと、より早く簡単に起動することができます。

 ショートカットアイコンの作りかたについて
➡ 《オンラインマニュアル》

アプリケーションを終了する

ここでは「Microsoft Word」を終了する方法を例に説明します。
終了する前に、必要に応じて作成したデータを保存しておきましょう。
保存していない場合、終了時にメッセージが表示されることがあります。

1 [閉じる] ボタンをクリックする



「Microsoft Word」が終了します。

ここでは、[閉じる] ボタンをクリックして終了する方法を説明しました。
終了方法はアプリケーションによって異なります。
ここで紹介した操作方法の他に、メニューバー（[ファイル] から [終了] などを選択）から終了するものや、[終了] ボタンをクリックして終了するものもあります。

4章 文字を入力しよう

- 1 キーボードについて 74
- 2 メモ帳を開く 77
- 3 文字を入力する 78
- 4 文書を保存する 99

1

キーボードについて

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。

Caps Lock
(キャプスロック)LED
文字入力の大文字ロック状態を示す

Esc(エスケープ)キー
操作を取り消すときに使う

半/全<漢字>キー

Tab(タブ)キー

Caps Lock
(キャプスロック)英数キー

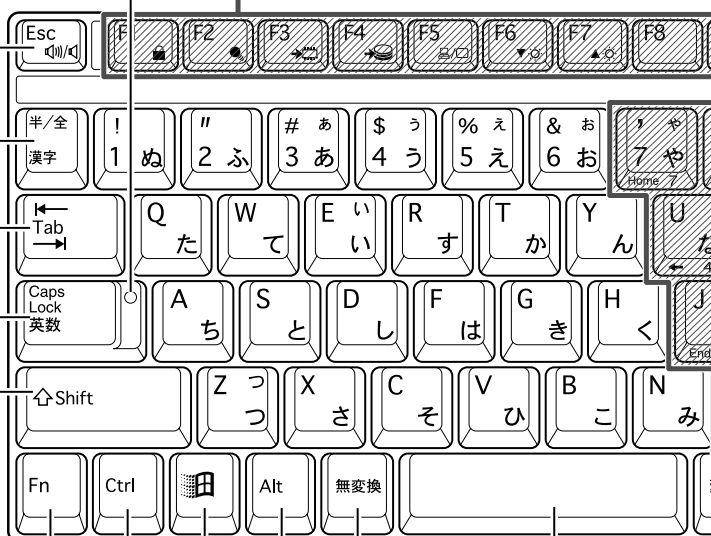
Shift(シフト)キー
アルファベットの大文字、
小文字入力の一時的な切り
替えや記号などを入力する
ときに使う

Fn(エフエヌ)キー
オーバーレイキーを使用するときや
ファンクションキーとの組み合わせに
より、特殊機能を実行するときに使う

Ctrl(コントロール)キー
他のキーと組み合わせて、特定の
操作を実行するときに使う

Win(ウィン)キー
Windowsのスタートメニューを表示する
ときや他のキーと組み合わせて、ショート
カットとして使う

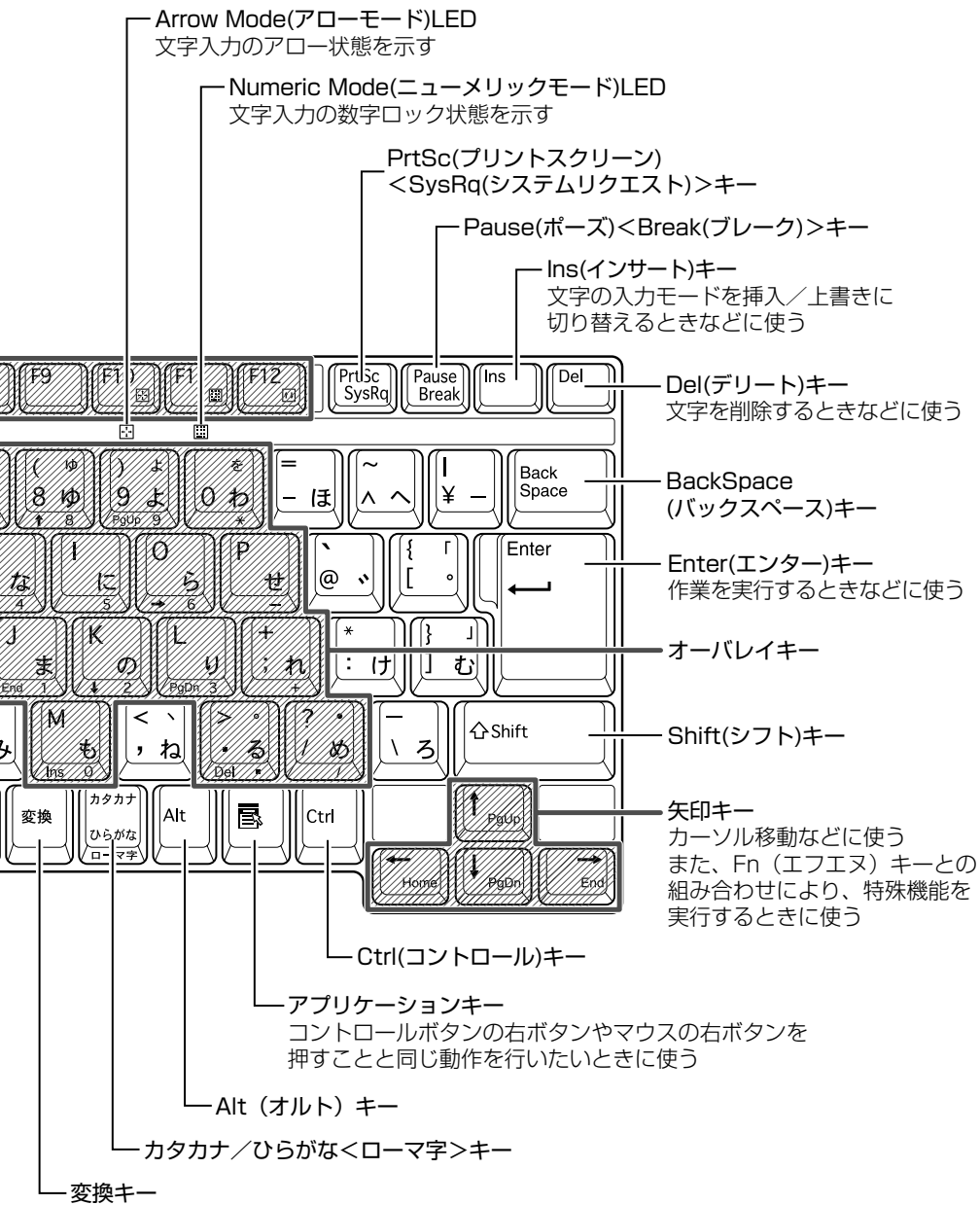
ファンクションキー
特定の操作を実行する
ときなどに使う



無変換キー


Alt(オルト)キー
他のキーと組み合わせて、
特定の操作を実行するときに
使う

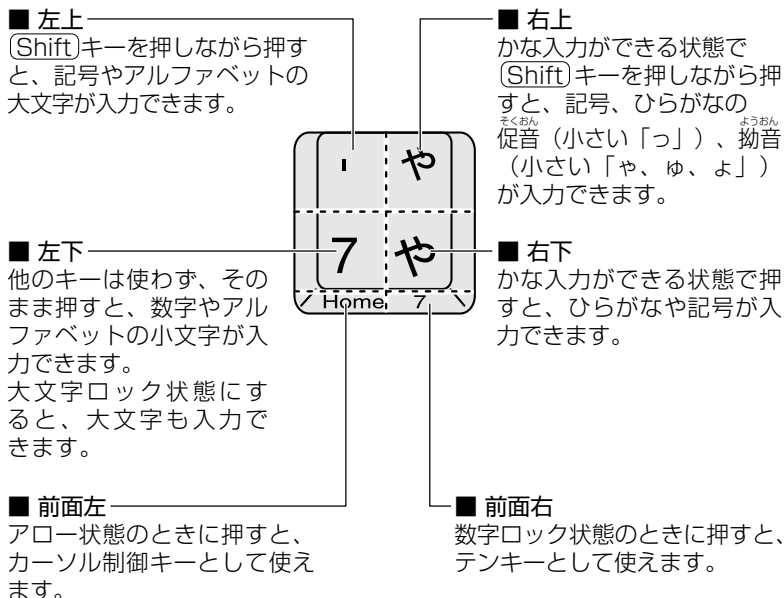
Space(スペース)キー
空白文字を入力するときや、
入力した文字をかな漢字変換
するときに使う




■ 文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。
文字キーに印刷されている2～6種類の文字や記号は、制御キーで使い分けます。

参照  制御キーについて ⇨ 「本章 3-8 入力に関する制御キー」



参照  アロー状態、数字ロック状態
⇨ 『もっとステップアップ 2章 1 キーボードのいろいろな使いかた』

■ いろいろな使いかた

キーボードには次のような便利な機能があります。

- キーシフトインジケータの切り替え
Caps Lock LED、Arrow Mode LED、Numeric Mode LEDの状態を説明します。
- (Fn)キーを使った特殊機能キー
- (Fn)キーを使ったショートカットキー
- 特殊機能キー

詳しくは、『もっとステップアップ 2章 1 キーボードのいろいろな使いかた』をご覧ください。

2

メモ帳を開く

ここでは、文書ファイルにキーボードを使って文字を入力し、文書として保存する方法について説明します。

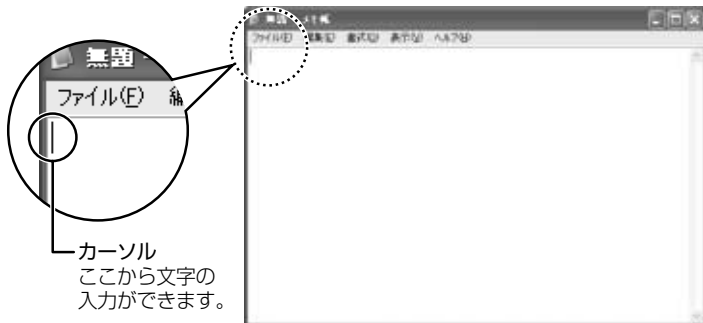
はじめに、文字を入力するファイルを開きましょう。

ここでは、Windowsに付属のアプリケーション「メモ帳」を使って「テキスト文書」を作成します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [メモ帳] までたどり、[メモ帳] をクリックする



[無題 - メモ帳] 画面が開きます。



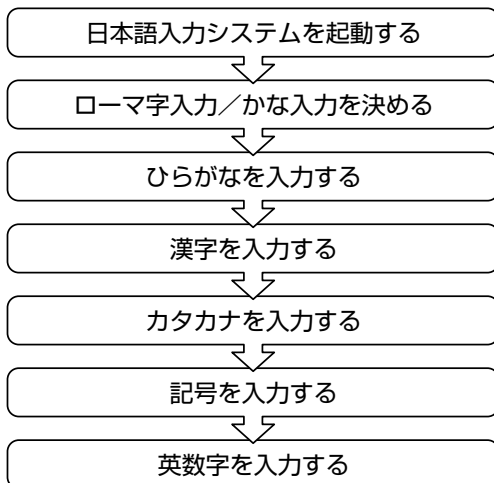
本章では、[無題 - メモ帳] 画面に文字を入力しながら説明します。

3

文字を入力する

ここでは、簡単な文字を入力しながら、パソコンでの文字入力について覚えましょう。

次の流れにそって進めていきます。



1 日本語を入力するには

本製品には、日本語入力システム MS-IME が用意されています。日本語入力システムとは、日本語を入力するためのソフトウェアです。起動したときは、英数字の入力ができるようになっています。日本語を入力できるようにするには、次の方法があります。

■ (半/全) キーを押す

日本語入力に切り替わると、IME ツールバーまたはタスクバーが次のように表示されます。

【IME ツールバーを表示している場合】

IME ツールバーは、デスクトップの右端に表示されています。



【IME ツールバーを最小化している場合】

IME ツールバーの [最小化] ボタン (■) をクリックする、または、IME ツールバー上で右クリックし、表示されるメニューから [最小化] をクリックすると、IME ツールバーが最小化されます。

最小化した IME ツールバーは、タスクバーに表示されます。

元に戻すには、IME ツールバーの [復元] ボタン (■) をクリックする、または IME ツールバー上で右クリックし、表示されるメニューから [言語バーの復元] をクリックしてください。



パソコンで入力できる文字には、「半角」「全角」2種類の大きさがあります。「半角」は漢字モードではないときに普通に表示される文字で、少し縦長です。「全角」は半角を二つあわせたくらいの大きさになります。英数字やカタカナは半角・全角どちらでも入力できます。ひらがなと漢字は全角でのみ入力できます。

例

A ア
(半角)

A ア
(全角)

2 ローマ字入力／かな入力を決める

「ローマ字入力」と「かな入力」のどちらかを選択するかによって、同じキーを押したときでも、表示される文字が異なります。

「ローマ字入力」は、キーに印刷されている英数字のとおりローマ字入力して、ひらがなに変換する方法です。

「かな入力」は、キーに印刷されているひらがなのとおりに入力する方法です。日本語入力システムを起動したときの標準設定は、ローマ字入力になっています。

例：「かな」と入力する

ローマ字入力：(K)(A)(N)(A)の順にキーを押すと、「KA」→「か」「NA」
→「な」と変換され「かな」と入力される

かな入力：(か)(な)の順にキーを押すと、「かな」と入力される



ローマ字入力について ⇨ 「付録 1 ローマ字入力一覧表」

かな入りに設定を変更する場合

次のどちらかの方法で設定してください。

■ キーボードで設定する

1 (Alt)キーを押したまま、(カタカナひらがな)キーを押す

もう1度押すと、ローマ字入力に戻ります。


また、パソコンの電源を切り、再び電源を入れると、ローマ字入力に戻ります。

かな入りに設定を変更すると、IME ツールバーは次のように表示されます。



色が変わります。

■ 画面上で設定する

- 1 IME ツールバーの [ツール] アイコン () をクリックし①、[プロパティ] をクリックする②



[Microsoft IME スタンダードのプロパティ] 画面が表示されます。



- 2 [全般] タブで、[入力設定] の [ローマ字入力/かな入力] ボックスの右にある ▼ ボタンをクリックする
[ローマ字入力]、[かな入力] のメニューが表示されます。



- **タブ** ● タイトルバーの下に表示されている見出しのこと。
タブ名だけが見えているので、目的のタブ名をクリックすると、
クリックしたタブが1番上に表示される。

- 3 [かな入力] をクリックする



4 [OK] ボタンをクリックする



4章

文字を入力しよう

3 ひらがなを入力する

「こんばんは」と入力する

- ローマ字入力の場合

ⓀⓞⓃⓃⓅⓐⓃⓃⓗⓐと、キーボードのキーを順に押す

- かな入力の場合

こ ん は ん は と、キーボードのキーを順に押す

こんばんは|

日本語を入力すると、文字の下に点線がつきます。これは、この文字が漢字変換できることを表しています。

ここでは、ひらがなで入力したら、**Enter**キーを押して確定してください。確定とは文字を入力した後、漢字やひらがなに文字を決定して、固定することです。

確定すると文字の下線が消えます。

いったん確定した文字は、他の文字には変えることはできません。訂正したい場合は、1度削除して入力し直してください。

こんばんは|

4 漢字を入力する

漢字を入力するには、まずひらがなを入力し、漢字に変換します。

「鼻」と入力する

- ローマ字入力の場合
(H)(A)(N)(A)と、キーボードのキーを順に押す
- かな入力の場合
(は)(な)と、キーボードのキーを順に押す

はな|

(Space)キーを押すと、漢字に変換されます。

花|

目的の漢字ではない場合は、もう1度(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。



一覧から(Space)または(↑)(↓)キーで選択し、(Enter)キーを押して確定してください。

鼻|

5 カタカナを入力する

カタカナを入力したい場合は、漢字の変換と同じように、ひらがなをカタカナに変換することができます。

「パーティー」と入力する

- ローマ字入力の場合

Ⓐ(は) Ⓓ(て) Ⓘ(い) と、キーボードのキーを順に押す
「てい」は Ⓓ(て) Ⓔ(い) と、キーを押しても入力できます。


- かな入力の場合

Ⓐ(は) Ⓓ(て) Ⓘ(い) と、キーボードのキーを順に押す
Ⓓ(て) Ⓔ(い) キーを押したまま Ⓔ(い) Ⓓ(て) と、キーボードのキーを順に押す

ばーていー|

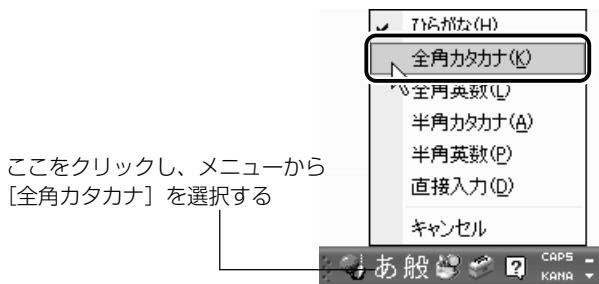
Ⓐ(Space) キーを押すと、「パーティー」と変換されます。Ⓔ(Enter) キーを押して確定してください。

パーティー|

-  (F7) キーを押すと、必ず全角カタカナに変換されます。日本語入力の辞書に登録されていないカタカナの単語を入力するときに便利です。

■ 直接カタカナを入力する

カタカナのみを入力するときや、正しくカタカナに変換されにくい文字は、あらかじめ入力モードを切り替えてから入力しましょう。

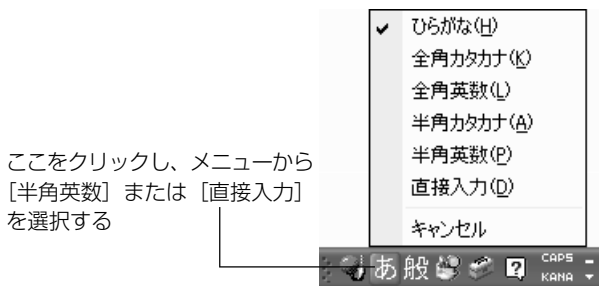


IME ツールバーは次のようになります（ローマ字入力の場合）。




6 記号を入力する

読点（、）や句点（。）などの記号は、文字と同じように入力できます。入力モードを「半角英数」や「直接入力」に変更する場合は、次のように操作します。



IME パッドを使って記号を入力することもできます。

 参照 IME パッド ⇨ 「本節 9- 読みかたがわからない文字を入力する」

よく使う記号の入力方法は次のとおりです。

記号	ローマ字入力の場合	かな入力の場合
「。」(句点)	 キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す
「、」(読点)	 キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す
「？」(疑問符)	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押し、(Space) キーを押して変換する
「！」(感嘆符)	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す	(Shift)キーを押したまま、  キーを押し、(Space) キーを押して変換する

インターネットなどでよく使う文字の入力方法は次のとおりです。入力モードを「直接入力」に切り替えてから入力してください。

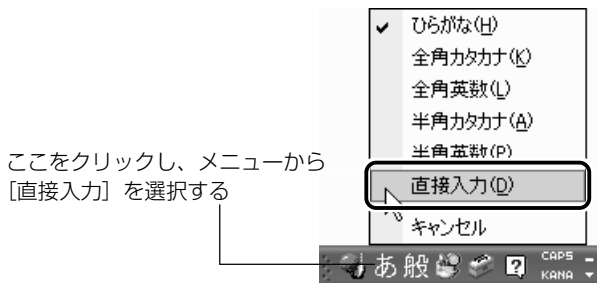
記号	キー
@ (アットマーク)	 キーを押す
_ (アンダーバー)	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す
- (ハイフン)	 キーを押す
/ (スラッシュ)	 キーを押す
~ (チルダ)	(Shift)キーを押したまま、  キーを押す

7 英数字を入力する

入力モードを「直接入力」に切り替えて入力します。

「ひらがなまたはカタカナ入力」⇔「直接入力」の切り替えは、(半/全)キーを押すと簡単にできます。

また、ツールバーでも次のように変更できます。



IME ツールバーは次のようになります。



「sunday」と入力する

ⓈⓊⓃⓓⓐⓎと、キーボードのキーを順に押す



sunday|

英字が小文字で表示されます。

直接入力の場合は、文字を入力するだけで、自動的に確定されます。

8 入力に関する制御キー

文字入力するときに、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
(Ctrl) + (Caps Lock 英数)	<p>半角カタカナ入力ができる状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの右下に印刷されたひらがなを半角カタカナで入力できます。IME ツールバーを表示している場合は、[KANA] の部分の色が変わります。</p>  <p>[KANA] の部分をクリックしても、半角カタカナ入力状態にできます。</p>
(Shift) + (Caps Lock 英数)	<p>大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。IME ツールバーを表示している場合は、[CAPS] の部分の色が変わります。</p>  <p>[CAPS] の部分をクリックしても、大文字ロック状態にできます。</p>

半角カタカナ入力や大文字ロック状態を解除するには、もう 1 度同じ操作をします。

ロック状態の優先度は、半角カタカナ入力状態 > 大文字ロック状態です。

9 入力がうまくできないとき

文字を削除する

■ 文字を確定する前に間違えたときには

(BackSpace)キーを押すと、右から順に画面上の文字が消えます。

こんばん|

その後、正しい文字を入力し直してください。

■ 文字を確定した後で1文字ずつ削除する

(→)(←)(↑)(↓)キーでカーソルを、消したい文字の右側に移動し、(BackSpace)キーを押します。

また、(Del)キーを押すと、カーソルの1つ右側にある文字が消えます。

■ 文字を確定した後で範囲を選択して削除する

一定の範囲の文字をまとめて削除することもできます。

ポインタを消したい範囲のはじめの文字の左側に移動し、クリックします。

消したい範囲をドラッグして選択します。

こんばんは
来週パーティーを開きます。

(Del)または(BackSpace)キーを押すと、選択した範囲が消えます。

こんばんは
|パーティーを開きます。

変換の区切りを変える

ひらがなを漢字やカタカナに変換するとき、変換する区切りを指定することができます。

「ひらきます。」と入力し、(Space)キーを押したとき、「ひら来ます。」と変換された場合などは、区切りの範囲を指定して変換し直します。

こんばんは
来週パーティーをひら来ます。

(Shift)+(←)、(→)キーで範囲を指定してください。

こんばんは
来週パーティーをひらきます。

(Space)キーを押すと、変換の区切りを変更して変換されます。
次の区切りの再変換が必要な場合は、(→)キーで太い下線を移動し、(Space)キーを押します。

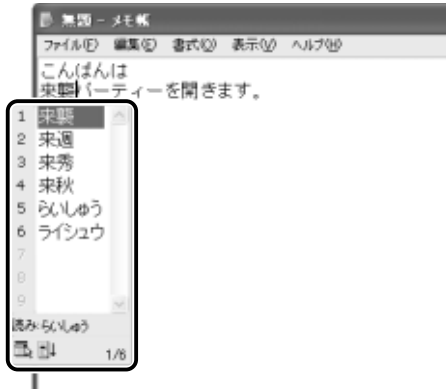
こんばんは
来週パーティーを開きます。

確定した文字を変換し直す

文字を確定したあとにも変換をやり直すことができます。ポインタを変換したい範囲のはじめの文字の左側に移動し、クリックします。変換したい範囲をドラッグして選択します。

こんばんは
来襲パーティーを開きます。

(変換) キーを押すと、候補の一覧が表示されます。





一覧から (Space) または (↑) (↓) キーで選択し、(Enter) キーを押して確定してください。

こんばんは
来週パーティーを開きます。

入力するキーがわからないとき


ローマ字入力の場合、どのキーを押せば目的の文字が入力されるかわからないときは、「ローマ字入力一覧表」を見ながら入力してください。

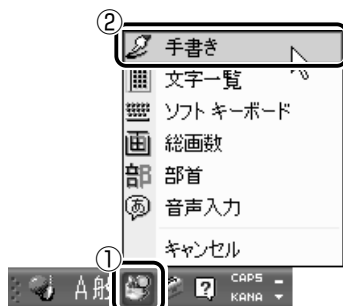
 参照  「付録 1 ローマ字入力一覧表」

読みかたがわからない文字を入力する

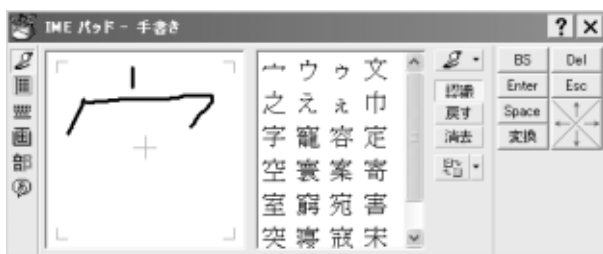
MS-IME では、読みかたがわからない漢字や記号は、IME パッドから探すことができます。

■ 「丑」を入力する場合

- 1 IME ツールバーの [IME パッド] アイコン () をクリックし①、[手書き] をクリックする②



[IME パッド-手書き] 画面が表示されます。

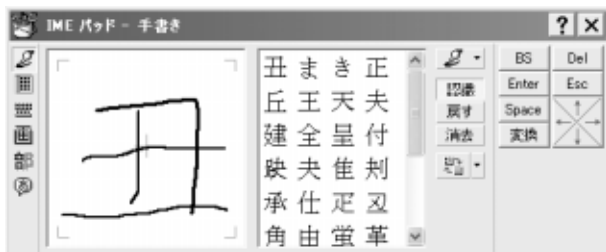


画面に文字が表示されている場合は [消去] ボタンをクリックしてください。



2 「丑」という字を描く

「ここにマウスで文字を描いてください。」と書かれた部分に、ポイントで「丑」という字を書きます。
右側の文字の一覧に、似ている文字が表示されます。



3 一覧から「丑」をクリックする

「丑」が挿入されます。




4 [Enter] ボタン () をクリックする

文字が確定します。

入力した文字を削除したり、カーソルを移動したい場合などは、画面右のボタンをクリックします。各ボタンはキーと同じ働きをします。




■ 記号の「☆ (ほし)」を入力する場合

- 1 IME ツールバーの [IME パッド] アイコン () をクリックし①、[文字一覧] をクリックする②



[IME パッド-文字一覧] 画面が表示されます。



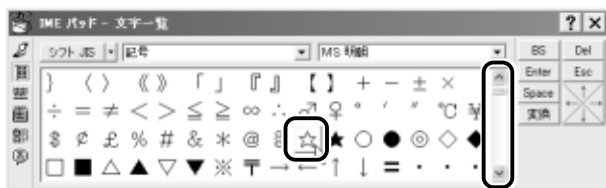
- 2 「半角英字」と表示されているボックスの右にある  ボタンをクリックする




- 3 表示されたメニューから、[記号] をクリックする
記号の一覧が表示されます。



- 4 スクロールバーを使って目的の記号を探し、クリックする
記号がカーソルの位置に入力されます。



↓スクロールバー

- 5 [Enter] ボタン () をクリックする
記号が確定します。

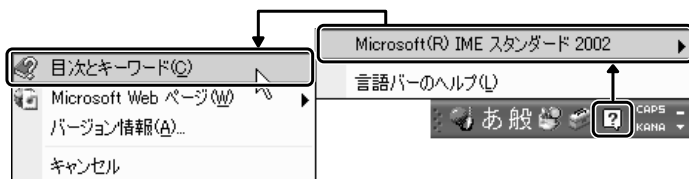
入力した記号を削除したり、カーソルを移動したい場合などは、画面右のボタンをクリックします。各ボタンはキーと同じ働きをします。



ヘルプの起動

日本語入力システム MS-IME の詳しい使いかたについては、次の手順で『MS-IME のオンラインヘルプ』をご覧ください。

- 1 [ヘルプ] ボタン (?) をクリックし、[Microsoft(R) IME スタンダード 2002] をたどり、[目次とキーワード] をクリックする



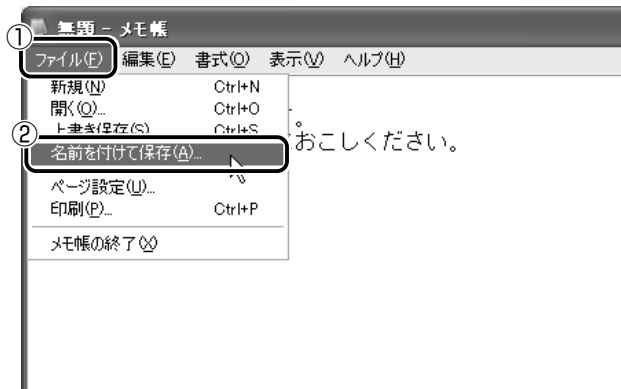
4

文書を保存する

作成した文書を保存して、パソコンの中に保存しておきましょう。

- 1 [無題 - メモ帳] 画面で、メニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [名前を付けて保存] をクリックする②

[名前を付けて保存] 画面が開きます。



[ファイル名] に、「*.txt」の文字が反転表示されています。反転表示されていない場合は、「*.txt」の文字をクリックしてください。



2 日本語入力になっているか確認する

日本語入力ができない場合は、(半/全)キーを押してください。

3 [ファイル名] 欄に「練習」と入力する

「れんしゅう」と入力してから、(Space)キーを押して漢字に変換します。(Enter)キーを押して確定してください。



4 [保存する場所] が [マイ ドキュメント] になっているか確認する

他の場所になっている場合は、ボックス右端の ▼ ボタンをクリックして①、場所のメニューを表示します。

[マイ ドキュメント] をクリックしてください②。

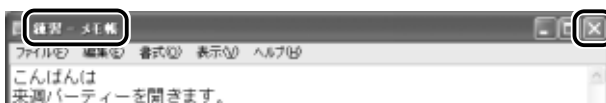


5 [保存] ボタンをクリックする

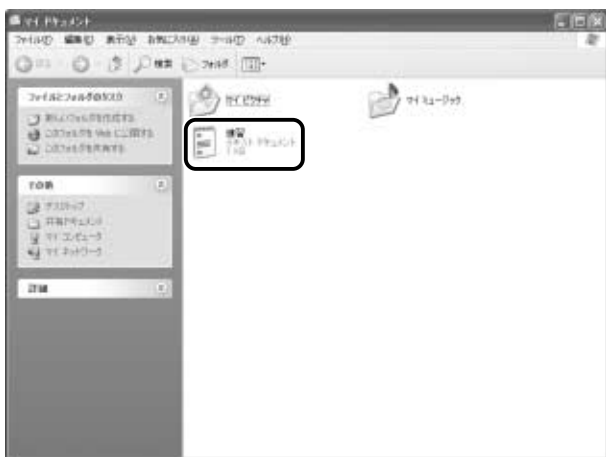


6 画面のタイトルを確認する

保存したら、開いていた [無題 - メモ帳] 画面のタイトルが「練習 - メモ帳」になっているか確認してください。
保存したファイルは、画面右上の [閉じる] ボタン (X) で閉じることができます。

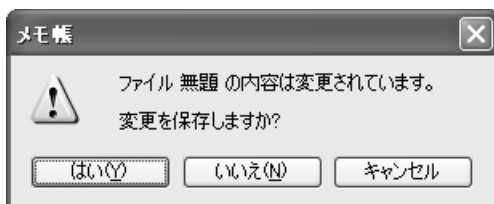


「練習」を閉じたら、[マイドキュメント] を開いて [練習] のファイルがあるか確認してください。



ファイルを保存せずに閉じた場合

保存されていないファイルの画面を閉じようとする時、「変更を保存しますか?」などのメッセージ画面が表示されます。



【変更を保存するとき】

[はい] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、本節手順 2 以降の操作を行なってください。

【入力した文字などを保存しないとき】

[いいえ] ボタンをクリックします。ファイル画面が閉じます。

この場合、ファイルは保存されません。

【元のファイル画面に戻るとき】

[キャンセル] ボタンをクリックします。

この場合、ファイルは保存されず、編集画面に戻ります。

5章 インターネットを 楽しもう

- 1 Internet Explorer の使いかた 104
- 2 簡単にホームページに接続する 129
- 3 プログラムファイルをダウンロードする 130

1

Internet Explorer の使いかた

インターネット エクスプローラ

ホームページを楽しむために、Internet Explorerの使いかたを覚えましょう。

* 本章で使用している画面は表示例です。ホームページのアドレス、画面などは、変更になる場合があります。

1 インターネットボタンでワンタッチスタート!

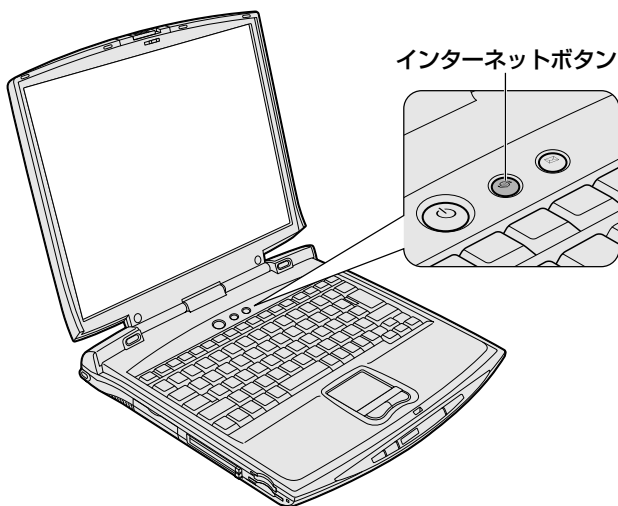
インターネットボタンを押すだけで、インターネットに接続できます。プロバイダとの契約やパソコンの設定が完了してからご使用ください。



インターネットの接続方法について

☞ 『まずはこれから インターネットに接続しよう』

1 インターネットボタン (🌐) を押す



Internet Explorer が起動します。

パソコン本体の電源が入っていないときは、電源が入り Windows が起動した後に Internet Explorer が起動します。スタンバイ状態を実行中、または休止状態のときにボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後、Internet Explorer が起動します。

インターネットボタンを押したときに起動するブラウザ（アプリケーション）を変更することができます。



インターネットボタンの設定方法

☞ 「7章 3-4 東芝コントロールで設定する」

2 Internet Explorer画面

メニューバー


いろいろな操作が種類別にまとめられています。それぞれのボタンをクリックするとメニューが表示され、さらに細かい操作を選んでいきます。

ツールバー


よく使う機能がボタンでまとめられています。その中でも特によく使われるボタンの働きを次に説明します。


 戻る ▾ 1つ前の画面に戻ります。


 ▾ 1つ先の画面に進みます。


 ページの読みこみを中止します。


 ページを最新の情報に更新します。

 どのページを表示していても、スタートページが表示されます。
☞「本節 5 起動したときに表示するホームページを変更する」

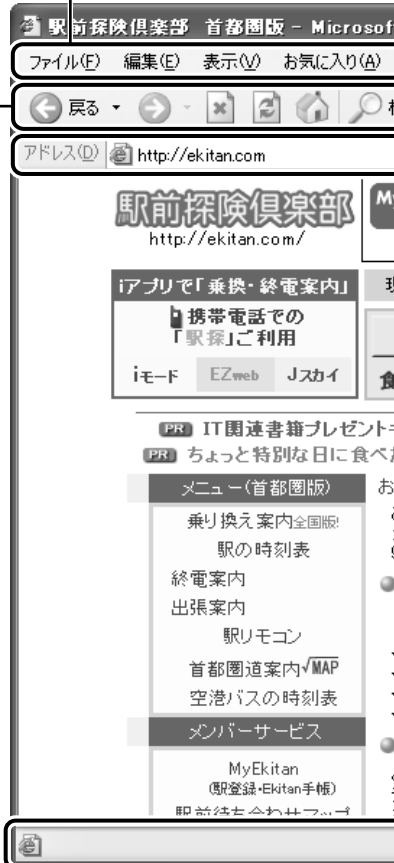
 検索 検索の画面を表示します。
☞「本節 3 ホームページを検索する」

 お気に入り よく見るページなどを登録し、簡単にページが開けるようにします。
☞「本節 4 よく見るホームページを登録する（お気に入り）」

 以前に表示したページを表示します。
☞「本節 9 以前に表示したホームページを表示する」

 メールソフトを起動します。

 ページを印刷します。



アドレスバー

ホームページのアドレスがわかっている場合に入力します。


アドレスとは「http://」の後に続く英数字のことで、ホームページの場所を示します。

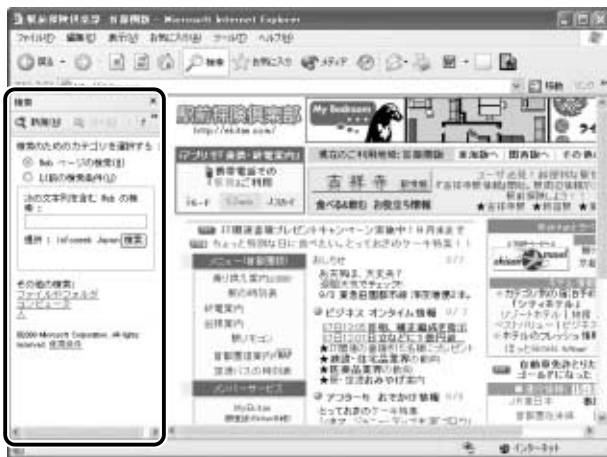


ステータスバー

接続状態などを表示します。

3 ホームページを検索する

- 1 ツールバーの「検索」ボタン () をクリックする
左側に検索画面が表示されます。



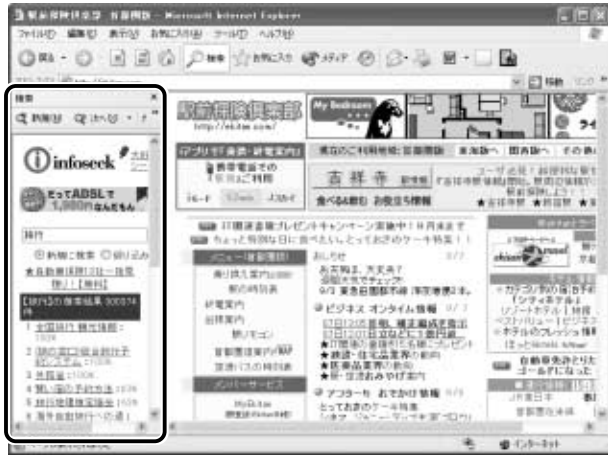
- 2 探したいページのキーワードを入力する
ここでは「旅行」と入力してみます。

次の文字列を含む Web
の検索 :

提供 :

3 [検索] ボタンをクリックする

検索結果が表示されます。ご覧になりたい項目をクリックすると、ページが表示されます。



4 よく見るホームページを登録する（お気に入り）

よく見るホームページを「お気に入り」に登録しておきます。「お気に入り」に登録しておくと、アドレスなど面倒な入力をせずに、見たいホームページを表示できます。アドレスとは「http://」の後に続く英数字のことで、ホームページの場所を示す住所のようなものです。

【お気に入り】に登録する

- 1 登録したいホームページを表示する
ここでは「http://ekitan.com/」のページを例にして説明します。
- 2 メニューバーの【お気に入り】をクリックし①、表示されたメニューから【お気に入りに追加】をクリックする②



- 3 【名前】を入力する
ここでは、「駅前探検倶楽部 首都圏版」で登録します。

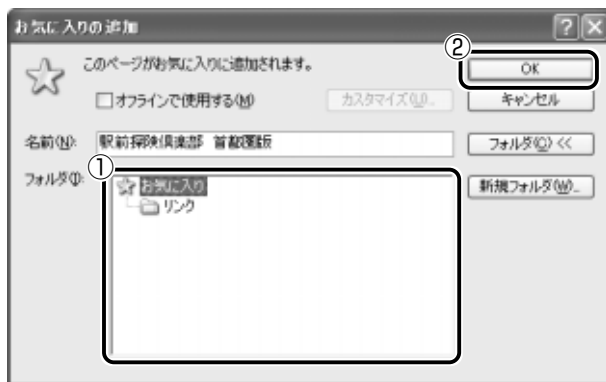


- 4 登録するフォルダを指定しない場合は [OK] ボタン、指定する場合は [フォルダ] ボタンをクリックする
フォルダを指定しない場合は登録完了です。
フォルダを指定する場合は手順5以降をご覧ください。

5 [フォルダ] を指定する

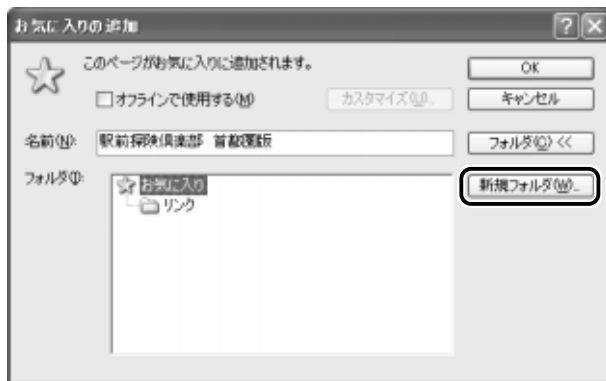
■ 既存のフォルダに登録する場合

- ① 目的のフォルダをクリックする
- ② [OK] ボタンをクリックする

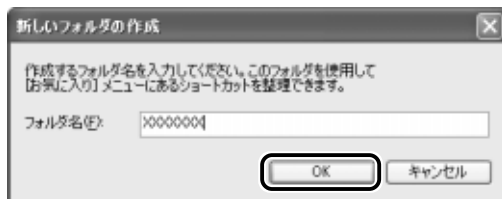


■ 新規にフォルダを作成する場合

- ① [新規フォルダ] ボタンをクリックする

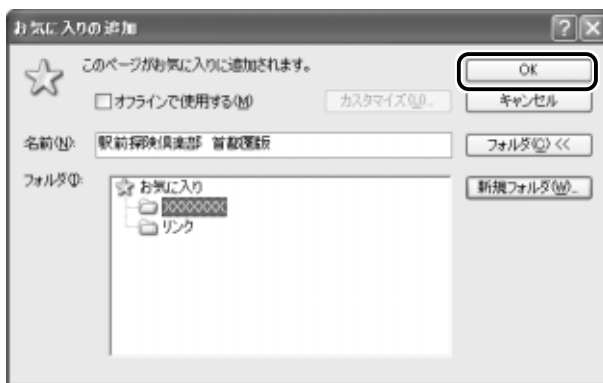


- ② 名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする




フォルダが作成されました。

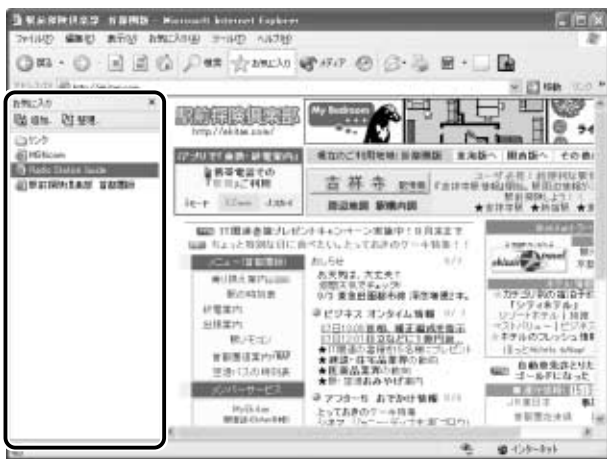
- ③ 作成したフォルダが反転表示している状態で [OK] ボタンをクリックする



【お気に入り】 からホームページを表示する

■ 方法 1

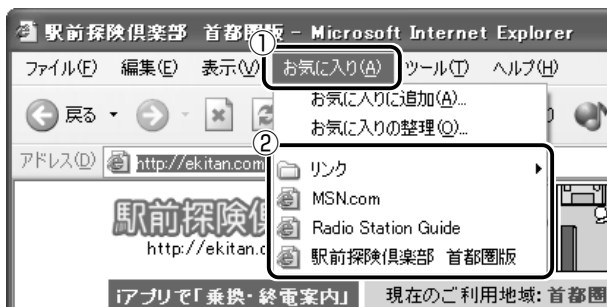
- 1 ツールバーの【お気に入り】 ボタン () をクリックする
左側に【お気に入り】 画面が表示されます。



- 2 目的のフォルダまたはホームページをクリックする

■ 方法 2

- 1 メニューバーの【お気に入り】 をクリックし①、表示されたメニューからフォルダまたはページをクリックする②



【お気に入り】を整理する

- 1 メニューバーの【お気に入り】をクリックし①、表示されたメニューから【お気に入りの整理】をクリックする②



【お気に入りの整理】画面が表示されます。



■ 新しくフォルダを作成する

- 1 [フォルダの作成] ボタンをクリックする
[新しいフォルダ] が作成されます。
- 2 名前を入力する

■ 登録してあるフォルダを変更する

- 1 変更したいフォルダまたはホームページをクリックし、
[フォルダへ移動] ボタンをクリックする
フォルダの一覧が表示されます。
- 2 移動先のフォルダをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

■ 【お気に入り】 から削除する

- 1 削除したいフォルダまたはホームページをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認のメッセージが表示されます。
- 2 [[はい] ボタンをクリックする

5 起動したときに表示するホームページを変更する

Internet Explorer を起動したときに表示されるホームページを「スタートページ」といいます。スタートページは、自由に設定することができます。

- 1 スタートページにしたいホームページを表示する
ここでは「http://ekitan.com/」を例にして説明します。
- 2 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [インターネットオプション] をクリックする②



- 3 [全般] タブの [ホームページ] で [現在のページを使用] ボタンをクリックする①
[アドレス] に、表示しているホームページのアドレスが表示されます②。
[標準設定] ボタンをクリックすると、ご購入時の設定に戻ります。



4 [OK] ボタンをクリックする

- メモ** ● [インターネットオプション] 画面の [アドレス] にスタートページにしたいホームページのアドレスを直接入力して設定することもできます。この場合、あらかじめホームページを表示しておく必要はありません。

スタートページに戻る

他のホームページを表示していても、[ホーム] ボタンをクリックするだけでスタートページへ移動することができます。

1 ツールバーの [ホーム] ボタン () をクリックする



スタートページが表示されます。



6 ホームページを保存する

後でゆっくり見たいホームページや保存しておきたいホームページを文章やイラストごとダウンロードし、1つのファイルとして保存できます。

1 保存したいホームページを表示する

ここでは「http://ekitan.com/」を例にして説明します。

2 メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【名前を付けて保存】をクリックする②



[Web ページの保存] 画面が表示されます。

3 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。
ここでは、[マイドキュメント] に保存します。



[ファイルの種類] で保存する内容を選択できます。

[Web ページ、完全 (*.htm ; *.html)] :

表示されているホームページの内容がすべて表示されます。
保存されるときは画像ファイルなどは別のファイルで保存されます。

[Web アーカイブ、単一のファイル (*.mht)] :

表示されているホームページの内容が1つのファイルですべて保存されます。

[Web ページ、HTML のみ (*.htm、*.html)] :

表示されているホームページが htm ファイルの形式で保存されますが画像などは保存されません。

[テキストファイル (*.txt)] :

文字だけが保存されます。画面上では文字であってもその文字が画像として作成されていた場合は保存されません。表示するときは「メモ帳」などで開きます。

ここでは、[Web ページ、完全 (*.htm、*.html)] を選択した場合で説明します。

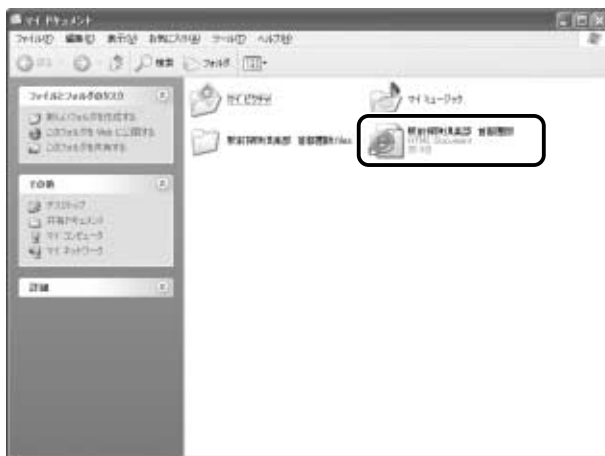
[エンコード] では [日本語 (シフト JIS)] を選択してください。

4 [保存] ボタンをクリックする

ダウンロードが開始され、ホームページが保存されます。



ホームページのファイルと同じファイルが「マイドキュメント」に保存されます。
保存したページを見るには、ホームページのファイルをダブルクリックします。



ホームページのファイルと同じ名前のフォルダには、そのページに使われているイラストなどが保存されています。
ホームページのファイルあるいはフォルダのどちらかを移動あるいは削除すると、もう一方も一緒に移動あるいは削除されますので、同じ場所に保存してください。

7 ホームページの画像を保存する

表示しているホームページ上の画像をパソコンに保存することができます。ここでは「http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index_j.htm」のページの画像を例にして説明します。

- * このホームページに記載のイラスト・写真・文章の無断の転載を禁じます。すべての著作権は株式会社東芝に帰属します。



1 保存したい画像の上にポインタをあわせる



- 2 右クリックし、表示されたメニューから [名前を付けて画像を保存] をクリックする

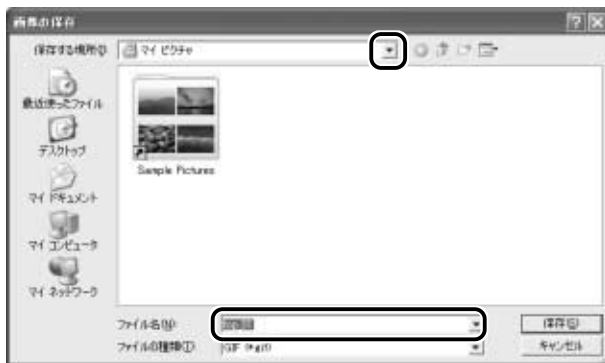


[画像の保存] 画面が表示されます。

- 3 保存する場所とファイル名を確認する

保存する場所を変更したい場合は、[保存する場所] の右端の ▼ ボタンをクリックします。場所の一覧が表示されますので、保存先を選択してください。

[ファイル名] には、ホームページ上の画像のファイル名が表示されます。ファイル名は自由に変更できます。



- 4 [保存] ボタンをクリックする

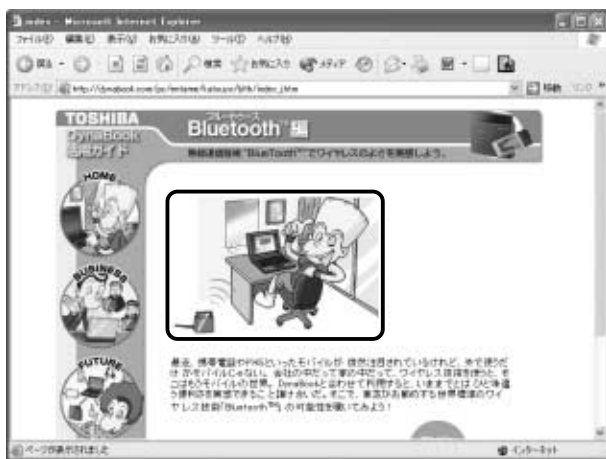
8 ホームページの画像を壁紙に設定する

ホームページ上の画像をデスクトップの壁紙にすることができます。
ここでは「http://dynabook.com/pc/entame/katsuyo/blth/index_j.htm」
のページの画像を例にして説明します。

- * このホームページに記載のイラスト・写真・文章の無断の転載を禁じます。
すべての著作権は株式会社東芝に帰属します。




1 保存したい画像の上にポインタをあわせる



- 2 右クリックし、表示されたメニューから [背景に設定] をクリックする





画像が壁紙に設定されます。
Internet Explorerの画面の [最小化] ボタン () をクリックし、デスクトップ画面の壁紙を確認してください。



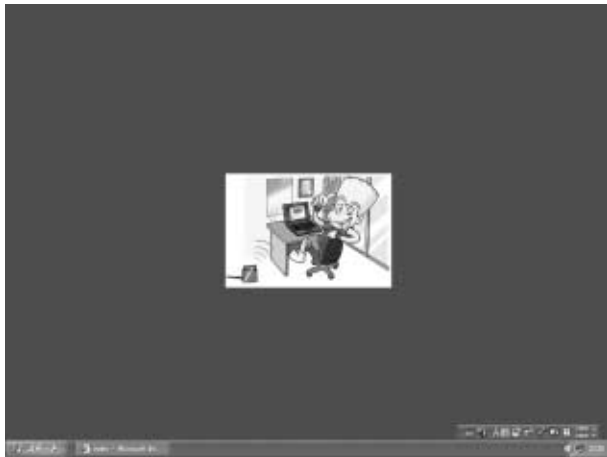
■ 壁紙を中央に表示する／並べて表示する

壁紙を小さく中央に表示したり、同じ画像をいくつも画面いっぱい
並べて表示することができます。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- 2 [デスクトップの背景を変更する] をクリックする
- 3 [デスクトップ] タブの [表示位置] で、中央に表示したい場合は [中央に表示]、並べたい場合は [並べて表示] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

[デスクトップの表示とテーマ] 画面の [最小化] ボタン () をクリックし、デスクトップ画面の壁紙を確認してください。

中央に表示




並べて表示



9 以前に表示したホームページを表示する

過去に表示したことがあるホームページの履歴は、一定期間保存されています。履歴を検索して、以前に表示したホームページをもう1度表示させることができます。

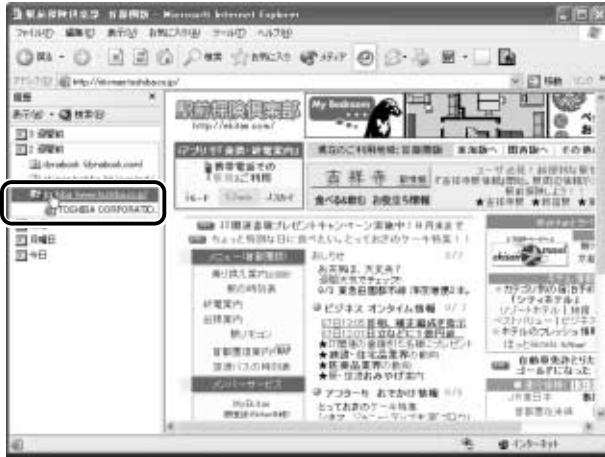
- 1 ツールバーの「履歴」ボタン () をクリックする
左側に履歴画面が表示されます。



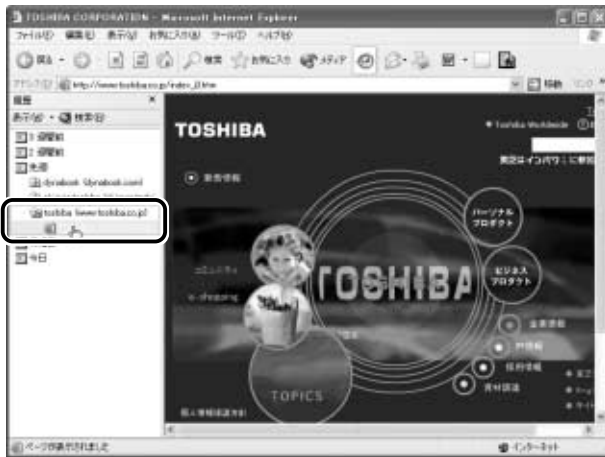
- 2 目的のホームページを表示した週または曜日をクリックする
その週または曜日に表示したホームページの場所の一覧が表示されます。



- 3 目的のホームページがある場所をクリックする
その場所で表示したホームページの一覧が表示されます。



- 4 目的のホームページをクリックする
ホームページが表示されます。



ツールバーの「履歴」ボタンをもう1度クリックすると、左側の履歴画面が閉じます。

- 履歴の保存期間は、メニューバーの「ツール」→「インターネットオプション」→「全般」タブの「履歴」で設定することができます。

2

簡単にホームページに接続する

「東芝ネットメニュー」のアイコンをクリックすると、アドレスを入力することなく簡単にホームページに接続できます。

1 [スタート] → [東芝ネットメニュー] をクリックする

2 接続したいメニューのアイコンをクリックする

[閉じる] ボタン
「東芝ネットメニュー」を閉じます。



接続したいメニューのアイコンをクリックする
ブラウザが起動し、ホームページに接続します。

5章

インターネットを楽しもう

3

プログラムファイルをダウンロードする

ホームページには、プログラムなどのファイルを提供しているものがあります。ファイルのダウンロードを選択すると、次のような画面が表示されます。



ホームページの場所からプログラムなどのファイルを実行する方法は、実行に時間がかかったり、実行中に何らかの理由でインターネットへの接続が切断されるなど、失敗する場合があります。

そのため、ホームページからファイルをダウンロードして自分のパソコンに保存する「保存」をおすすめします。

この方法には次のような利点があります。

- ファイルにウイルスはないか、チェックできる
- 他のアプリケーションを終了してから、ファイルを実行することができる
- インターネットへの接続を切断してから、ファイルを実行することができる

ファイルをダウンロードしてパソコンに保存する方法を説明します。

1 [保存] ボタンをクリックする



2 保存先、ファイル名を選択する

保存する場所、ファイル名を指定してください。

ここでは保存先として [マイ ドキュメント] フォルダを選択しています。



3 [保存] ボタンをクリックする

ダウンロードが開始されます。

ファイルサイズが大きいと、ダウンロードに時間がかかります。

ダウンロードが終了すると、終了画面が表示されます。



- [ダウンロードの完了後、このダイアログボックスを閉じる] をチェックすると、閉じるための操作をしなくてもダウンロード終了後、画面が閉じます。

4 [閉じる] ボタンをクリックする



ダウンロードしたファイルを実行するには、保存したファイルをダブルクリックします。